

目 次

1 はじめに.....	5
2 事務事業評価の目的.....	5
3 平成27年度の評価の特徴	6
4 評価の実施	7
5 評価の種類及び評価結果	7
6 今後の取組	8
事務事業評価シートの見方.....	10
掲載事業一覧.....	15
事務事業評価シート.....	16～83

事務事業評価報告書

（平成26年度事業）

1 はじめに

平成 26 年 3 月に策定した第 8 次行財政改革大綱では、「持続可能な行財政運営の推進」を改革の目的とし、これを達成するための重点取組のひとつとして「行政評価システムの再構築」を掲げました。

これまでの行政評価は、「成果重視の行政運営の実現」と「説明責任の確保」を目的に、平成 15 年度に本格導入し、基本計画の着実な推進や事務事業の効果性、効率性の向上に努めてきました。また、行政サービスにかかる経費については、施策ごとに事業費、人件費を明らかにしてきました。

昨年度から、第 8 次行財政改革大綱に掲げた目標のひとつ「効率的な行財政運営」を実現するためには、経費の総額（フルコスト）を明らかにすることが重要と考えました。そこで、事務事業（予算上の中事業を指します。）ごとの事業費や人件費だけでなく、減価償却費や賞与等の引当金繰入額を算出・計上することとしました。

今年度は、フルコストの算出だけでなく、事業の活動量を数値化した活動指標を設定するとともに、フルコストを活動量で除した単位当たりコストを明らかにすることで、分かりやすい経年比較をしました。

今後も、経費に見合った成果を生みだしているかを評価する仕組みを強化していくことにより、基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」（計画期間平成 25～34 年度）を着実に推進していきます。

この報告書は、平成 26 年度に実施した事務事業に対する評価結果について、二次評価まで実施したものを取りまとめたものです。

2 事務事業評価の目的

本市の行政評価は、施策の評価、事務事業評価、細事業評価により構成されています。

事務事業評価は、基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」に掲げる 49 の施策に対する評価と、行政活動の最小単位となる細事業の評価を連動させるため、細事業を束ねる予算上の中事業を評価するものです。事務事業評価では、フルコスト（事業費、人件費、減価償却費等）事業費の財源、年度目標に対する活動実績、年度間の活動推移等を評価することで、以下のことに努めていきます。

（1）職員のコスト意識を高める

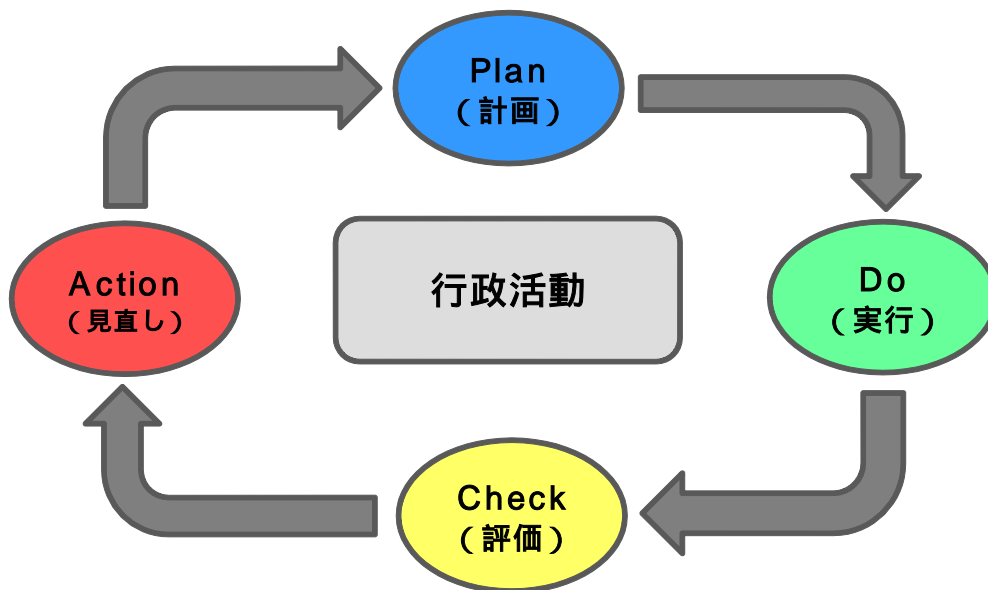
実施した事務事業のフルコストを積算し、活動内容を事務工程ごとに振り返ることにより、コスト意識を高めていきます。

(2) 透明性の高い行財政運営

事務事業の評価結果を冊子やホームページで公表することによって、市政の透明性を確保するとともに、1年間の行政活動の内容を市民の皆様に説明します。

(3) PDCAサイクルのマネジメントによる事務改善

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（見直し）のサイクルによるマネジメントを意識し、評価結果を次年度以降の事務事業の見直しに活用します。



3 平成27年度の評価の特徴

(1) フルコストの把握

事務事業にどれだけの経費（フルコスト）がかかっているのかを明らかにするとともに、職員の経費に対する意識付けを行います。

(2) 活動指標の設定

どのような活動やサービスの提供を行ったのか、事業の活動量を数値化する「活動指標」を用いて経年比較を行い、事業活動の結果とそこから見えてきた課題を明らかにします。

(3) 単位当たりコストの算出

フルコストを活動量で除し、単位当たり（1人当たり、1回当たりなど）コストを算出することで、経費に対する事業活動の効率性や経済性を分析します。

4 評価の実施

(1) 事務事業

細事業を束ねる予算上の中事業及び事業費の伴わない職員の活動のみで行うマンパワー事業を対象に、評価しました。ただし、庶務事務、職員費、公債費、償還金、他会計への繰出金、予備費、元金、利子、用地や施設取得の買戻し・償還分等にかかる事務事業については、評価の対象としていません。

評価実施事業数 …… 690 (うち、マンパワー事業数 …… 68)

(2) 細事業

行政活動の最小単位となる事業を対象に、評価しました。

評価実施事業数 …… 1,864

5 評価の種類及び評価結果

(1) 一次評価

事業の実施所管による自己評価です。

< 評価結果 >

ア 活動結果

活動結果	事務事業数	割合
事業活動を計画以上に実施することができた	60	8.5%
事業活動を計画どおり実施した	595	86.1%
事業活動が計画よりやや下回った	31	4.8%
事業活動を執行しなかった(できなかった)	4	0.6%
合計	690	100.0%

イ 次年度の展開

次年度の展開	事務事業数	割合
現状維持	477	69.0%
拡充	133	19.3%
改善	60	8.6%
縮小	8	1.4%
廃止	2	0.3%
-	10	1.4%
合計	690	100.0%

「 - 」は、計画どおりに 26 年度で終了した事業です。

(2) 二次評価

市職員で構成する庁内評価委員会による評価です。今年度は、効率的な施設運営の観点（経費の縮減・節減、執行手段の妥当性等）から、主な施設の34の事務事業を対象に事業の実施所管に対してヒアリングを実施し、評価しました。

< 評価結果 >

評価結果は、事務事業評価シートの「庁内評価委員会（二次評価）」欄に記載しています。

6 今後の取組

(1) 他自治体とのサービス水準の比較

各自治体共通の基幹事業である国民健康保険事業、介護保険事業などを対象に、サービスの特性に応じた業務分析を行い、近隣自治体のサービス水準や実施手法と比較することによって本市の強みと弱みを把握し、ベストプラクティス（最善・最良の方法）に向けた業務の再構築を図る取組を進めていきます。

(2) 評価結果を踏まえて

業務の事務工程ごとの分析、活動指標の単位当たりコストからみる費用対効果の分析などに取り組むことで、事業の更なる効率性や経済性の向上に努めていきます。

また、行政コストをフルコストで認識することで、それに見合った成果となっているか、事業の実施所管と行財政改革部とが一緒になって事業の見直しを進めていく必要があります。

事務事業評価シート

事務事業評価シートの見方

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名 1	事業類型 2			
担当部課 3				
計画 4	編 章 施策番号			
予算	会計 款 項 目			
5 根拠 目的				
6 人員体制	24年度	25年度	26年度	対前年度
	一般職員			
	任期付職員			
	再任用職員			
	計			
行政コスト	(単位 円)			
7 事業費	24年度	25年度	26年度	対前年度
	人件費			
	物件費			
	うち委託料			
	維持補修費			
	その他			
	計			
8 その他 コスト	職員費			
	減価償却費			
	賞与引当金繰入額			
	退職給与引当金繰入額			
	計			
	行政コスト 計			
9 事業費財源	国庫支出金			
	都支出金			
	市債			
	使用料・手数料			
	その他			
	一般財源			
	事業費財源 計			
事業費及び 事業費財源 の主な増減 説明				

- ① …事務事業(予算上の中事業)名を記載しています。
- ② …施設運営、窓口サービス等、事務事業の類型を記載しています。
- ③ …事務事業の実施所管名を記載しています。
- ④ …八王子ビジョン2022の編(都市像)、章(基本施策)、施策番号及び施策の名称を記載しています。
- ⑤ …事務事業の予算科目、事業の実施根拠、目的を記載しています。
- ⑥ …事務事業に携わっている人員体制について記載しています。
行政コストの「その他コスト」に影響します。
- ⑦ …事務事業に要した経費について、性質ごとに記載しています。
(「事業費」は、決算書に記載の額と一致させるため、資産として捉える経費を含んでいます。)

人件費	嘱託員や非常勤特別職にかかる報酬、給料、職員手当、共済費等
物件費	賃金、需用費(修繕料を除く)、役務費、委託料、使用料及び賃借料等
維持補修費	需用費(修繕料)
その他	報償費、工事請負費、負担金補助及び交付金等

- ⑧ …事務事業に要した職員費、事務事業で負担する当該年度分の減価償却費及び職員の賞与や退職手当のための引当金繰入額を記載しています。

職員費	職員(一般職員、任期付職員、再任用職員)に支払われる給与です(賞与も含まれます。)
減価償却費	平成27年3月31日時点における本市の公有財産台帳に登録のある建物を対象に算出しています。
賞与引当金繰入額	平成27年度の職員の賞与の支払いに備え、平成26年度に負担すべき金額をコストとして計上します。
退職手当引当金繰入額	全職員が退職するとした場合に支払われる退職手当の支払いに備え、平成26年度に負担すべき金額をコストとして計上します。

- ⑨ …事務事業の事業費の財源を記載しています。

Plan		活動結果
年度目標	10	

Do	
活動実績	11

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
活動推移	活動指標	12				
	年間経費	円				
	単位当たりコスト	円/				

Check		活動量を表す指標	
26年度 評価		14	
	【次年度の展開】	13	【26年度末時点の課題】

Action			
27年度 の取組	15	28年度 の計画	16

10 ……事務事業の平成26年度の活動目標とその結果を記載しています。

11 ……通常業務の活動内容、活動量のほか、年度目標に対して行った活動内容、活動量などを記載しています。

12 ……活動指標は、どのような活動を行うのか、どのようなサービスを提供するのか等、事業の活動量を表す指標です。その活動量を数値化するとともに単位当たりコストを算出し、経年比較することで事業活動の効率性や経済性などを分析します。

13 ……【評価】は、26年度に実施した事業活動について、事業を実施した所管の自己評価を記載しています。
【次年度の展開】は、自己評価結果を踏まえた次年度の展開を記載しています。

次年度の展開	現状維持	現状の予算、活動内容、規模等を基本とし、展開するもの
	拡充	現状の予算、活動内容、規模等を拡大し、展開するもの
	改善	現状維持を基本としつつ、活動内容を一部改善し、展開するもの
	縮小	現状の予算、活動内容、規模等を縮小し、展開するもの
	廃止	26年度の事業を最後に廃止したもの
	—	26年度で事業が終了したもの

14 ……26年度に実施した事業活動を振り返り、課題となっていることを記載しています。

15 ……【評価】と【26年度末時点の課題】を踏まえ、どのように取り組んでいくのかを記載しています。

16 ……27年度を取組を踏まえ、28年度はどのような計画を予定しているのかを記載しています。

対象事業 一覧

	事務事業名	ページ
1	南大沢総合センター駐車場の管理運営	16
2	市民集会所の運営	18
3	事務所の管理運営	20
4	コミュニティ施設管理運営	22
5	長房ふれあい館管理運営	24
6	東浅川保健福祉センターの管理運営	26
7	南大沢保健福祉センターの管理運営	28
8	公設在宅サービスセンター管理	30
9	恩方老人憩の家	32
10	学童保育所の管理運営	34
11	市立保育所の管理運営	36
12	戸吹湯ったり館管理運営	38
13	看護専門学校運営	40
14	斎場運営	42
15	霊園管理	44
16	南多摩都市霊園管理	46
17	北野余熱利用センターの管理運営	48
18	道の駅八王子滝山の管理運営	50
19	農村環境改善センター管理運営	52
20	観光関連施設等の環境整備	54
21	交流拠点施設の整備	56
22	自転車駐車場の管理運営	58
23	公園管理	60
24	教育センター管理運営	62
25	姫木平自然の家管理運営	64
26	国史跡八王子城跡の保存整備	66
27	文化財関連施設維持管理	68
28	郷土資料館管理運営	70
29	こども科学館管理運営	72
30	学校の開放	74
31	屋外運動施設の管理運営	76
32	甲の原体育館の管理運営	78
33	旭町駐車場	80
34	八王子駅北口地下駐車場	82

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	南大沢総合センター駐車場の管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	道路交通部 交通事業課												
計画	編	4	章	3	施策番号	32					交通環境の充実		
予算	会計	一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	財産管理費
根拠	八王子市営駐車場条例												
目的	多摩ニュータウンのまちづくり整備の一環として駐車場を設置して運営する。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		0.12人	0.12人	0.12人	0.00人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	計		0.12人	0.12人	0.12人	0.00人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	0	0							
	物件費		212,457,216	212,557,066	218,713,739	6,156,673							
	うち委託料		13,357,363	13,357,363	13,739,002	381,639							
	維持補修費		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0							
	計		212,457,216	212,557,066	218,713,739	6,156,673							
その他コスト	職員費		1,032,849	1,023,321	948,000	75,321							
	減価償却費		0	0	0	0							
	賞与引当金繰入額		63,891	64,226	66,164	1,938							
	退職給与引当金繰入額		69,589	6,404	0	6,404							
	計		1,166,329	1,093,951	1,014,164	79,787							
行政コスト 計			213,623,545	213,651,017	219,727,903	6,076,886							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		29,062,080	27,888,960	27,157,780	731,180							
	その他		31,551	32,955	32,846	109							
	一般財源		183,363,585	184,635,151	191,523,113	6,887,962							
	事業費財源 計		212,457,216	212,557,066	218,713,739	6,156,673							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	消費税率引き上げによる、経費の増額。												

年度目標	南大沢駐車場の適切な管理運営	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	24年度	25年度	26年度
	時間貸 : 123,761台	時間貸 : 117,829台	時間貸 : 116,145台
	定期 : 60台	定期 : 60台	定期 : 55台
	回転率 : 3.2	回転率 : 3.0	回転率 : 3.0

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			駐車可能区画数	区画	107	107
	年間経費	円	213,623,545	213,651,017	219,727,903	6,076,886
	1区画あたり管理コスト	円/区画	1,996,482	1,996,738	2,053,532	56,794

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	消費税率引き上げの影響もあり、事業費が増額となる一方で、利用実績としては伸び悩んでいる。	周辺の商業施設付属の駐車場が整備されてきている現状においては、利用者を増やす有効な手立てがない中で、高額な借り上げ料が負担となっている。今後、長時間駐車利用を増やす工夫を検討するとともに、他の有効利用法等についても検討する。
	【次年度の展開】	
	改善	

27年度 の取組	定期駐車拡大と提携店舗等について、引き続き研究、改善に努める。 なお、長期的な視点での駐車場事業としての方向性についても、検討する。	28年度 の計画	現状維持しつつ、費用対効果の観点から、当該事業のあり方を含めた有効利用についても模索する。
-------------	---	-------------	---

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】
	南大沢総合センター駐車場は、他の市営駐車場(旭町・八王子駅北口地下)とは元々の性格が異なる。当該駐車場は、センターの地下にあり、来客用に用意した駐車場であるが、センター建設当時、南大沢駅周辺の駐車場整備が不十分であったため、まちづくり整備の一環として市営駐車場として開設した経緯がある。また、センターは市からの信託により運営しており、市は信託先に借上料を支払っていることから、1区画あたりの管理コストが高くなる。一方、駐車場の運営には指定管理者制度を導入し、効率性を高めている。 内部事務の効率性の観点からは、三つの市営駐車場に共通する定型的な事務をまとめることで、職員体制の適正化に取り組む余地がある。

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	市民集会所の運営				事業類型	施設運営							
担当部課	市民部 市民生活課、浅川地域事務所、元八王子地域事務所、北野地域事務所												
計画	編	1	章	1	施策番号	1	地域コミュニティの活性化						
予算	会計	一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	11	事務所費
根拠	八王子市市民集会所条例												
目的	市民のコミュニティ活動を醸成し、市民相互の親睦と福祉の向上を図る(市民集会所条例第1条)。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		2.21人	2.25人	2.25人	0.00人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.32人	0.32人	0.32人	0.00人							
	計		2.53人	2.57人	2.57人	0.00人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	0	0							
	物件費		14,223,341	14,847,333	14,473,585	373,748							
	うち委託料		13,409,555	14,014,676	13,351,201	663,475							
	維持補修費		95,844	0	0	0							
	その他		0	0	0	0							
	計		14,319,185	14,847,333	14,473,585	373,748							
その他コスト	職員費		20,155,355	20,342,113	18,931,685	1,410,428							
	減価償却費		0	0	0	0							
	賞与引当金繰入額		1,222,154	1,263,082	1,287,316	24,234							
	退職給与引当金繰入額		1,281,596	120,072	0	120,072							
	計		22,659,105	21,725,267	20,219,001	1,506,266							
行政コスト 計			36,978,290	36,572,600	34,692,586	1,880,014							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		4,196,400	4,652,200	4,291,200	361,000							
	その他		0	0	0	0							
	一般財源		10,122,785	10,195,133	10,182,385	12,748							
	事業費財源 計		14,319,185	14,847,333	14,473,585	373,748							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	石川市民集会所を平成26年11月末で廃止(地域福祉推進拠点に転用)したことに伴い、日直委託が不要となったため、委託料が減となった。												

年度目標	既存の市民集会所として継続する箇所と利活用を行うべき箇所を抽出する。 集会所機能を廃止した際の、市民センターへの影響を整理する。 地域性も考慮した利活用の方向性について、庁内で議論する。	活動結果
		事業活動を計画以上に実施することができた

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室や調理講習室等の集会所施設を設置し、市民からの利用申請に基づき、施設を貸し出した(有料)。 ・由井の工事による一時閉鎖や石川の地域福祉推進拠点への転用のため、貸出回数が減少したが、利用率は、前年度(19.3%)から20.2%と増加した。 ・年度目標の実現に向け、4月に関係部課長で構成する「事務所窓口サービスのあり方検討会議」を立ち上げ、計22回の会議を実施して検討を重ねた。この中で、事務所の余剰スペースや利用率の低迷している集会所の活用策についても検討を行った。 ・集会施設が全市的に配置されていないことも加味し、安易に転用するのではなく、地域で特徴的な活動を展開できるものに限定するなど地域性を考慮しながら、地域福祉サービスの拠点を計画的に配置して行く方向性を打ち出し、具現化の一つとして、石川事務所の市民集会所を、平成26年12月1日に地域福祉推進拠点として転用を実現した。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	施設貸出回数	回	5,574	6,251	5,735	516
	年間経費	円	36,978,290	36,572,600	34,692,586	1,880,014	
	施設1回利用あたりコスト	円/回	6,634	5,851	6,049	198	

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所を適切に運営し、貸し出すことができた。 ・利用率が低迷していた石川に地域福祉推進拠点を開設した。 ・年間経費と貸出実績からみる経済性は、年度途中で廃止した石川の委託料と利用者数の減を考慮に入れると、平年並みである。 	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>11月末に石川市民集会所を廃止し、地域のニーズに合った「地域福祉推進拠点」に転用したが、他地域においても利活用を検討していく必要がある。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	市民センターが整備されたことに伴い、地域の拠点として当該地域の特徴を活かした転用を図る方向で検討を進める。	28年度の計画	市民センターが整備されたことに伴い、地域の拠点として当該地域の特徴を活かした転用を図る方向で検討を進める。
---------	---	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>事業費の主な経費は、集会所の貸出等に係る委託料である。各集会所では、夜間貸出など、業務の大部分を高年齢者雇用対策の一環としてシルバー人材センターに委託している。市民センターの整備に伴い、今後の集会所の役割として、子ども・福祉政策の地域拠点としての「場」を提供していくなど、地域の特徴を生かした利活用を引き続き進めていく必要がある。</p>
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	事務所の管理運営				事業類型	窓口サービス							
担当部課	市民部 市民生活課、八王子駅南口総合事務所、浅川地域事務所、由木地域事務所、元八王子地域事務所、北野地域事務所												
計画	編	1	章	2	施策番号	4	市民サービスの向上						
予算	会計	一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	11	事務所費
根拠	住民基本台帳法、戸籍法 等												
目的	各種行政サービスを地域に密着した身近な事務所で行うことで、市民サービスの向上を図る。また、そのために施設の維持管理を行い、市民にとって利用しやすい快適な環境を整備する。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		96.22人		95.24人		99.10人		3.86人				
	任期付職員		9.60人		9.60人		9.60人		0.00人				
	再任用職員		14.86人		16.46人		18.33人		1.87人				
	計		120.68人		121.30人		127.03人		5.73人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		28,077,789		28,245,572		23,894,840		4,350,732				
	物件費		170,516,903		173,065,800		186,138,396		13,072,596				
	うち委託料		46,331,117		44,707,053		48,918,287		4,211,234				
	維持補修費		3,007,875		2,426,938		3,036,861		609,923				
	その他		19,073,985		1,916,304		7,616,921		5,700,617				
計		220,676,552		205,654,614		220,687,018		15,032,404					
その他コスト	職員費		910,177,086		900,980,604		875,658,933		25,321,671				
	減価償却費		51,458,551		51,435,036		42,260,957		9,174,079				
	賞与引当金繰入額		54,830,456		55,637,204		59,558,667		3,921,463				
	退職給与引当金繰入額		55,798,652		5,082,482		0		5,082,482				
	計		1,072,264,745		1,013,135,326		977,478,557		35,656,769				
行政コスト 計		1,292,941,297		1,218,789,940		1,198,165,575		20,624,365					
事業費財源	国庫支出金		3,027,184		2,963,576		3,278,580		315,004				
	都支出金		623,000		346,000		254,000		92,000				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		133,182,050		139,499,350		136,293,650		3,205,700				
	その他		542,321		1,312,839		1,863,460		550,621				
	一般財源		83,301,997		61,532,849		78,997,328		17,464,479				
	事業費財源 計		220,676,552		205,654,614		220,687,018		15,032,404				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	・施設修繕費等及び南大沢事務所の業務拡大に伴う運営経費増(ボイスコール購入等)。												

年度目標	総合事務所化に向け、南口総合事務所の検証を踏まえたあり方の検討 事務所の空きスペースを利活用するための庁内検討 事務所における積極的な声掛けによる満足度の向上	活動結果
		事業活動を計画以上に実施することができた

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 住民記録や戸籍に関する届け出、各種証明書の発行、市税の納付等を行った。また、施設の維持管理のため、光熱水費の契約、老朽化に伴う修繕、清掃や施設点検等を行った。 年度目標の実現に向け、4月に関係部課長で構成する「事務所窓口サービスのあり方検討会議」を立ち上げ、計22回の会議を実施して検討を重ねた。この結果を踏まえ、27年3月から南口及び南大沢事務所の業務拡充を実現した。 同会議にて、事務所の余剰スペースや利用率の低迷している集会所の活用策についても検討を重ね、地域で特徴的な活動を展開できるものに限定するなど地域性を考慮しながら、地域福祉サービスの拠点を計画的に配置して行く方向性を打ち出し、具現化の一つとして、石川事務所の市民集会所を、平成26年12月1日に地域福祉推進拠点として転用を実現した。 事務所における満足度については、職員の積極的な声掛けの成果もあり、2年前の調査(3.31)から3.49 / 4.00に向上した。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	証明・届出等取扱件数 (事務所関連分)	件	881,671	905,945	890,196	15,749
	年間経費	円	1,292,941,297	1,218,789,940	1,198,165,575	20,624,365	
	1件当たりコスト	円/件	1,466	1,345	1,346	1	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】 法令に基づく適正な事務の執行に努めるとともに、南口及び南大沢事務所の業務拡充や、事務所スペースの活用として、地域福祉推進拠点を石川事務所に開設するなど、計画以上の事業活動を行った。	【26年度末時点の課題】 鉄道駅に近接した南口、南大沢は業務を拡大したが、その有効性を検証し、今後の事務所における市民サービスの展開につなげていく必要がある。
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各種行政サービスの充実に努めるとともに、マイナンバー等の進展を見据えながら、南口及び南大沢の業務拡充の検証を踏まえ事務所業務のあり方を見直していく。 第8次行財政改革推進計画にある「利用者視点に立った効果・効率的な市民サービスの展開」の取り組みを進める。 	28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各種行政サービスの充実に努めるとともに、マイナンバー等の進展を見据えながら、南口及び南大沢の業務拡充の検証を踏まえ事務所業務のあり方を見直していく。 第8次行財政改革推進計画にある「利用者視点に立った効果・効率的な市民サービスの展開」の取り組みを進める。
---------	--	---------	--

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>平成27年3月に南口総合事務所と南大沢事務所において業務を拡大し、その業務量に応じた一般職員の配置が行われている。各事務所で取扱件数に差はあるものの、任期付職員、再任用職員、嘱託職員等の活用や業務の委託化など、職員体制の適正化に取り組んでいることから26年度の事業執行は妥当である。</p>
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	コミュニティ施設管理運営				事業類型	施設運営						
担当部課	市民活動推進部 協働推進課											
計画	編	1	章	1	施策番号	1	地域コミュニティの活性化					
予算	会計	一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	コミュニティ育成費
根拠	八王子市市民集会所条例											
目的	コミュニティ活動を醸成し、市民相互の親睦と福祉の向上を図る。											
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度						
	一般職員		1.20人	1.50人	1.85人	0.35人						
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人						
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人						
	計		1.20人	1.50人	1.85人	0.35人						
行政コスト	(単位 円)											
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度						
	人件費		0	0	0	0						
	物件費		482,561,541	484,045,090	505,681,143	21,636,053						
	うち委託料		251,387,047	251,085,769	265,802,017	14,716,248						
	維持補修費		0	0	0	0						
	その他		1,661,142	2,819,250	565,142	2,254,108						
	計		484,222,683	486,864,340	506,246,285	19,381,945						
その他コスト	職員費		10,328,489	12,791,511	14,615,000	1,823,489						
	減価償却費		117,068,363	117,372,487	117,357,632	14,855						
	賞与引当金繰入額		638,912	802,833	1,020,023	217,190						
	退職給与引当金繰入額		695,888	80,048	0	80,048						
	計		128,731,652	131,046,879	132,992,655	1,945,776						
行政コスト 計			612,954,335	617,911,219	639,238,940	21,327,721						
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0						
	都支出金		111,000	0	165,000	165,000						
	市債		0	0	0	0						
	使用料・手数料		0	0	0	0						
	その他		2,860,981	2,901,075	391,940	2,509,135						
	一般財源		481,250,702	483,963,265	505,689,345	21,726,080						
	事業費財源 計		484,222,683	486,864,340	506,246,285	19,381,945						
事業費及び事業費財源の主な増減説明	(指定管理料)地域市民センター指定管理料 241,319千円(前年度232,643千円) (指定管理料)地区会館指定管理料 19,428千円(前年度18,444千円) ……消費税改正分に伴う増によるもの。 (業務委託料)公衆無線LAN整備 5,719千円											

年度目標	・指定管理者である(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団による効率的・効果的な管理運営 ・市民センター、地区会館の利用率の向上 ・市民センター全館を対象とした公衆無線LANの整備	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	地域市民センター及び地区会館について、指定管理者である(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団による管理運営を行うことにより、地域コミュニティ活動が円滑に行われた。 (主な活動内容) ・会議室、多目的室、体育室等の貸出し ・コミュニティ活動に必要な情報の収集及び提供 ・センターを核としたコミュニティづくりに関する事業の実施 ・施設、付帯設備及び備品の適正な維持管理 ・全市民センターを対象に、公衆無線LANを整備 26年9月から順次利用開始 27年3月整備完了
------	---

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	指 活 標 動	市民センター利用者数	人	2,069,057	2,025,821	2,015,814	10,007
		年間経費	円	578,177,076	582,864,958	605,143,079	22,278,121
		利用者1人あたりコスト	円/人	279	288	300	12
	指 活 標 動	地区会館利用者数	人	147,768	144,433	135,765	8,668
		年間経費	円	34,230,781	33,999,889	34,095,861	95,972
		利用者1人あたりコスト	円/人	232	235	251	16

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】 年度目標は達成したが、年間経費が増え、利用者数が減っていることから、単位当たりコストが上がっている。経費の増は、消費税率が上がったこと、公衆無線LANの整備事業があったことによるものであるが、指定管理者制度を導入している施設であるため、指定管理者に利用者を増やす取組を強化させる必要がある。	【26年度末時点の課題】 市民センターでは、利用者が安全に、安心して利用できる施設として、適正な維持管理を行っていくとともに計画的な修繕を実施していく。地区会館は利用率が低迷しており、一部の会館では地元町会等への移管による地域管理を進めていく。
	【次年度の展開】 改善	

27年度 の取組	引き続き指定管理者による効率的・効果的な管理運営を行いながら、利用率を高めていくとともに、地域におけるコミュニティ活動の拠点施設として、市民センターの役割を充実していく。また、地区会館では、地域移管を進めていく。	28年度 の計画	幅広い世代の誰もが地域コミュニティ活動に参加できるきっかけの場となるよう、活動拠点として、市民センターの役割を充実し、施設の活用を推進することにより、市民力・地域力のさらなる向上を図る。
-------------	--	-------------	---

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】 (市民センターについて) 市民センター18施設(17館及び1分館)の管理を、指定管理者(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団に委託して行っている。 市民センターの仕事量は1.15人であり、半分以上を指定管理者のモニタリングと施設老朽化に伴う修繕等に関する調整業務が占めている。残りの業務は、支払い等の定型業務であり、協働推進課の他事業と共通する事務とまとめることができれば改善の余地がある。 利用者数は安定しており、引き続き効率的・効果的な運営に努める必要がある。 (地区会館について) 地区会館14館の管理を、指定管理者(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団に委託して行っている。施設の性質として、清掃工場建設等の市事業に対する地域側の受け入れ条件として整備された経緯を持つ会館が多く、地域との調整業務が主である。定型業務は限られるが、課内の他事業とまとめることができれば、全体として改善の余地がある。 利用者数減少の要因として市民センターの整備が進んだことが挙げられ、地元移管等、意義や役割を考えた管理のあり方を検討する必要がある。
-----------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	長房ふれあい館管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	市民活動推進部 協働推進課												
計画	編	1	章	1	施策番号	1	地域コミュニティの活性化						
予算	会計	一般会計			款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	コミュニティ育成費
根拠	八王子市長房ふれあい館条例												
目的	コミュニティ活動を通じて、市民相互の親睦を図るとともに、高齢者の福祉の増進に寄与する。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.55人		0.30人		0.35人		0.05人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.55人		0.30人		0.35人		0.05人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		33,525,080		33,465,080		33,818,080		353,000				
	うち委託料		33,485,000		33,425,000		33,778,000		353,000				
	維持補修費		0		0		302,400		302,400				
	その他		0		0		0		0				
	計		33,525,080		33,465,080		34,120,480		655,400				
その他コスト	職員費		4,733,891		2,558,302		2,765,000		206,698				
	減価償却費		0		0		0		0				
	賞与引当金繰入額		292,834		160,566		192,977		32,411				
	退職給与引当金繰入額		318,949		16,010		0		16,010				
	計		5,345,674		2,734,878		2,957,977		223,099				
行政コスト 計			38,870,754		36,199,958		37,078,457		878,499				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		33,525,080		33,465,080		34,120,480		655,400				
	事業費財源 計		33,525,080		33,465,080		34,120,480		655,400				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	(指定管理料) 長房ふれあい館指定管理料 33,778千円(前年度33,425千円) …消費税改正分に伴う増によるもの。												

年度目標	長房ふれあい館が持つ施設の特色を活かし、利用者相互や地域住民との交流が図れるような取組を充実していく。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<p>長房ふれあい館は、(社福)八王子市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、管理運営を行うことにより、地域コミュニティ活動が円滑に行われた。</p> <p>(主な業務内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室、多目的室、創作室等の貸出し ・高齢者(60歳以上)に対する娯楽室、浴室等の開放 ・健康体操等の教室や高齢者向けイベント、健康相談等の実施 ・文化祭や作品展の開催
------	---

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数	人	50,795	51,195	53,111	1,916
	年間経費	円	38,870,754	36,199,958	37,078,457	878,499	
	利用者1人あたりコスト	円/人	765	707	698	9	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	<p>【評価】</p> <p>計画どおり事業を実施した。文化祭等において多くの方の参加を得ていることから、コミュニティの醸成に十分な効果を上げている。</p> <p>行政コストは平年並みであるが、利用者数が増えていることから単位当たりコストは下がり、経済性のよい事業活動であった。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>開館から10年以上経過しており、施設の適正な維持管理を行っていくためにも、計画的な修繕を実施していく必要がある。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	<p>指定管理者と調整しつつ、長房ふれあい館が持つ施設の特色を活かし、利用者相互や地域住民との交流が図れるような取組を更に充実していくとともに、計画的な修繕を実施していく。</p>	28年度の計画	<p>集会施設と高齢者の娯楽施設を兼ね備えた施設としての特色を活かし、きめ細やかな管理運営を行い、幅広い世代の多くの市民がふれあいながら楽しく過ごせる施設としていく。</p>
---------	--	---------	---

<p>庁内評価委員会 (二次評価)</p>	<p>【評価】</p> <p>利用者数は、微増ではあるが年々増加傾向にあり、指定管理者による運営効果が現れているものと評価する。</p> <p>指定管理業務を除き、当該事業にかかる定型業務は限られるが、課内の他事業にかかる定型業務とまとめることができれば、全体として改善の余地がある。</p> <p>なお、イベント企画や高齢者以外の世代へのPRによって利用者は増加しており、引き続き効率的・効果的な運営と利用者の増に努めるとともに、施設の老朽化への対応も計画的に実施していく必要がある。</p>
---------------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	東浅川保健福祉センターの管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	医療保険部 東浅川保健福祉センター												
計画	編	2	章	3	施策番号	14					健康の維持・増進		
予算	会計	一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	社会福祉施設費
根拠	老人福祉法 身体障害者福祉法 八王子市東浅川保健福祉センター条例・施行規則												
目的	保健福祉施設として、高齢者や心身障害者の健康の増進及び教養の向上を図るため、各種教室、訓練及び相談などの事業を行うほか、併設するコミュニティ・センタ - 機能を活用して、広く市民の健康及び福祉の増進を図るため、市民の文化・コミュニティ活動やスポ - ツ・レクリエ - ション活動の場を提供する。												
人員体制					24年度	25年度	26年度	対前年度					
	一般職員				4.70人	5.26人	5.26人	0.00人					
	任期付職員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人					
	再任用職員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人					
	計				4.70人	5.26人	5.26人	0.00人					
行政コスト	(単位 円)												
事業費					24年度	25年度	26年度	対前年度					
	人件費				22,406,568	22,274,958	22,316,684	41,726					
	物件費				101,785,137	98,873,080	103,281,568	4,408,488					
	うち委託料				52,321,161	45,586,277	47,252,470	1,666,193					
	維持補修費				2,305,275	3,402,600	3,594,002	191,402					
	その他				23,593,491	10,775,884	12,064,776	1,288,892					
	計				150,090,471	135,326,522	141,257,030	5,930,508					
その他コスト	職員費				38,312,877	41,181,971	41,554,000	372,029					
	減価償却費				54,065,551	54,065,551	54,065,551	0					
	賞与引当金繰入額				2,502,406	2,815,272	2,900,175	84,903					
	退職給与引当金繰入額				2,725,563	280,700	0	280,700					
	計				97,606,397	98,343,494	98,519,726	176,232					
行政コスト 計					247,696,868	233,670,016	239,776,756	6,106,740					
事業費財源	国庫支出金				805,500	805,000	790,500	14,500					
	都支出金				10,144,050	910,829	905,150	5,679					
	市債				0	0	0	0					
	使用料・手数料				4,195,530	4,592,730	4,290,990	301,740					
	その他				2,832,397	2,722,492	2,853,216	130,724					
	一般財源				132,112,994	126,295,471	132,417,174	6,121,703					
	事業費財源 計				150,090,471	135,326,522	141,257,030	5,930,508					
事業費及び事業費財源の主な増減説明	(物件費)電気料金及びガス料金の引き上げに伴う増額 (その他)プール還水槽の漏水による工事請負費の増額												

年度目標	平成3年7月の開設以来、各所に修繕及び改修工事の必要性が出てきている。今後は、災害時の帰宅困難者一時滞在施設としての視点も取り入れながら、高齢者や障害者等の利用者に配慮した施設改善を計画的に進めるとともに、誰もが利用しやすい施設運営を目指していく。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくりの教室(趣味の教室) 5教室延132回開催 利用延人数 H26年度 6,072人 (参考) H25年度 5,285人 ・ボランティア養成講習会 初級・中級手話講習会 音訳講習会 延102回開催 利用延人数 H26年度 2,629人 (参考) H25年度 2,774人 ・室内プール 有料・無料 延318日開放 利用延人数 H26年度 73,626人 (参考) H25年度 78,829人 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者向教室 4教室延86回開催 利用延人数 H26年度 3,294人 (参考) H25年度 3,569人 ・保健福祉・栄養・歯科相談 347回開催 利用延人数 H26年度 4,326人 (参考) H25年度 3,302人
	合計利用延人数 H26年度 89,947人 (参考) H25年度 93,759人	

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数	人	296,815	299,383	293,681	5,702
	年間経費	円	247,696,868	233,670,016	239,776,756	6,106,740	
	利用者1人あたりコスト	円/人	835	781	816	35	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	<p>【評価】</p> <p>公共料金の引上げや施設の改修工事により事業費は前年度より増え、また、施設の利用者数は、施設の一部を改修工事により閉鎖したことから減少した。昨年度より単位当たりコストが上がってしまったため、費用対効果の向上に努める必要がある。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>施設の老朽化による不具合が多く発生したため、プールを一時的に休止するなど利用者に対しては十分なサービスの提供を行うことができなかった。計画的な施設改善の実施が課題となっている。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>拡充</p>	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者教室の更なる充実を図る。 ・室内プールや体育室の修繕を行い、施設の改善を図ることにより、利用者の利便性を高める。 	28年度の計画	引き続き、施設の改善を図ることにより、利用者の利便性を高める。
---------	---	---------	---------------------------------

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>施設の老朽化が進行しており、今年度はプールの改修工事によって施設利用者が減少している状況である。プール以外にも改修が必要な箇所は多く、計画的な施設改修が必要である。施設の管理運営にかかる主な経費は、11人の嘱託職員への報酬、17本の委託料、講師謝礼、施設の修繕料などのほか、プールにかかる光熱水費の占める割合が大きい。</p> <p>参加者数の少ない講座の見直し、嘱託職員・ボランティアの活用など、業務の効率化を進めているが、事業を事務工程ごとに分析した結果、施設運営の業務において、利用者登録、システムによる仮予約受付、窓口での本申請の事務については、嘱託職員、臨時職員の活用など職員体制の適正化に取り組む余地がある。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	南大沢保健福祉センターの管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	医療保険部 南大沢保健福祉センター												
計画	編	2	章	3	施策番号	14					健康の維持・増進		
予算	会計	一般会計			款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	社会福祉施設費
根拠	老人福祉法 身体障害者福祉法 八王子市南大沢保健福祉センター条例・施行規則												
目的	老人福祉センター(A型)及び身体障害者福祉センター(B型)として、憩いの場・交流の場の提供と福祉・保健に関する相談、講習会等の開催を通じて高齢者・障害者の生きがいと心身の健康づくりに寄与する。また、母子保健・成人保健事業を実施し、心身共に豊かな地域社会の形成に貢献する。												
人員体制					24年度	25年度	26年度	対前年度					
	一般職員				2.85人	3.05人	4.14人	1.09人					
	任期付職員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人					
	再任用職員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人					
	計				2.85人	3.05人	4.14人	1.09人					
行政コスト	(単位 円)												
事業費					24年度	25年度	26年度	対前年度					
	人件費				11,275,900	11,275,900	11,251,800	24,100					
	物件費				104,148,372	104,775,177	104,859,663	84,486					
	うち委託料				3,236,958	3,282,357	1,908,628	1,373,729					
	維持補修費				679,455	526,050	0	526,050					
	その他				3,340,950	3,104,000	1,939,500	1,164,500					
	計				119,444,677	119,681,127	118,050,963	1,630,164					
その他コスト	職員費				23,232,277	23,879,280	32,706,000	8,826,720					
	減価償却費				0	0	0	0					
	賞与引当金繰入額				1,517,416	1,632,429	2,282,647	650,218					
	退職給与引当金繰入額				1,652,735	162,230	0	162,230					
	計				26,402,428	25,673,939	34,988,647	9,314,708					
行政コスト 計					145,847,105	145,355,066	153,039,610	7,684,544					
事業費財源	国庫支出金				443,000	442,000	443,500	1,500					
	都支出金				972,373	820,956	754,850	66,106					
	市債				0	0	0	0					
	使用料・手数料				0	0	0	0					
	その他				641,042	573,011	246,800	326,211					
	一般財源				117,388,262	117,845,160	116,605,813	1,239,347					
	事業費財源 計				119,444,677	119,681,127	118,050,963	1,630,164					
事業費及び事業費財源の主な増減説明													

年度目標	南大沢保健福祉センターは高齢者・障害者を対象に地域における、いきいきとした生活を支援するため、生きがいづくりの教室の開催、憩いの場・交流の場の提供として、娯楽室の運営、福祉・保健に関する相談や各種講座を開催し、前年度と同程度以上の利用状況を目指す。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	・生きがいづくりの教室(趣味の教室) 7教室延156回開催 利用延人数 H26年度 2,012人 (参考)H25年度 1,783人	・障害者向教室 4教室延89回開催 利用延人数 H26年度 1,062人 (参考)H25年度 1,209人
	・ボランティア養成講習会等 初級・中級手話講習会 音訳講習会 延77回開催 利用延人数 H26年度 1,441人 (参考)H25年度 1,538人	・保健福祉・栄養・歯科相談 299回開催 利用延人数 H26年度 2,467人 (参考)H25年度 2,221人
合計利用延人数 H26年度 6,982人 (参考)H25年度 6,751人		

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数	人	66,537	73,258	74,143	885
	年間経費	円	145,847,105	145,355,066	153,039,610	7,684,544	
	利用者1人あたりコスト	円/人	2,192	1,984	2,064	80	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】 消費税率の増があったにもかかわらず、事業費は極力抑えながら、ボランティアの活用などの創意工夫で事業数・利用者数ともに前年度以上の実績を残すことができました。	【26年度末時点の課題】 保健福祉・栄養・歯科等に係る相談事業を更に充実させて行く。
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度の取組	これまで同様、高齢者・障害者を支援する事業を実施するとともに事業の周知にも留意し、利用者増を図っていく。また、保健福祉・栄養・歯科等に係る相談事業は、国が進める健康寿命の延伸にもつながる重要分野であり、当施設だけでなく地域での出張活動を強化し、これまで意識していなかった方たちにもご利用いただけるよう、積極的な啓発活動を展開する。	28年度の計画	特に高齢者事業については、これまで展開してきた生きがいづくりの事業に認知症・ロコモティブシンドローム予防などの保健的な要素を取り入れ、健康寿命の延伸に資するものにしていく。保健福祉・栄養・歯科等に係る相談事業は地域展開を強化するとともに保健所・地域包括支援センターなど関係機関と連携した事業を検討する。
---------	---	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	【評価】 利用者数は25年度と比較して伸びており、特に趣味の教室や保健福祉・栄養・歯科相談の伸びが見られる。施設管理にかかる事業費の9割が経常的な経費(賃料、共益費、光熱水費)であり、貸室業務等については嘱託員を最大限活用している。また、受付業務においても嘱託員を活用し、保健福祉・歯科・栄養相談といった専門性の高い業務は職員が対応するといった役割分担を明確にしている。各種講座については、ボランティアを育成し、講座の講師として活用するなどの工夫も見られ、既に業務の性格に応じた職員体制の適正化に取り組んでいる。 以上のことから、26年度の事業執行は妥当である。
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	公設在宅サービスセンター管理				事業類型	施設運営							
担当部課	福祉部 高齢者いきいき課												
計画	編	2	章	2	施策番号	13					高齢者への支援		
予算	会計	一般会計			款	03	民生費	項	02	老人福祉費	目	02	老人福祉施設費
根拠	地方自治法、介護保険法、八王子市高齢者在宅サービスセンター条例・施行規則												
目的	介護保険法に基づく要介護認定又は要支援認定を受けた者及び身体が虚弱等の高齢者に対し、通所介護等のサービスを提供し、もって高齢者等の福祉の増進を図る。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		0.25人	0.30人	0.29人	0.01人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	計		0.25人	0.30人	0.29人	0.01人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	0	0							
	物件費		96,432	532,087	551,832	19,745							
	うち委託料		0	0	0	0							
	維持補修費		136,500	0	0	0							
	その他		395,850	45,000	1,334,120	1,289,120							
	計		628,782	577,087	1,885,952	1,308,865							
その他コスト	職員費		2,037,919	2,348,782	2,291,000	57,782							
	減価償却費		0	0	0	0							
	賞与引当金繰入額		133,106	160,566	159,896	670							
	退職給与引当金繰入額		144,977	16,010	0	16,010							
	計		2,316,002	2,525,358	2,450,896	74,462							
行政コスト 計			2,944,784	3,102,445	4,336,848	1,234,403							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0							
	一般財源		628,782	577,087	1,885,952	1,308,865							
	事業費財源 計		628,782	577,087	1,885,952	1,308,865							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	施設の老朽化に対応するための修繕費の増加												

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 前年度選考の指定管理者との基本協定、5施設との年度協定を締結する。 平成25年度期末モニタリング、平成26年度期中モニタリング、平成26年度利用者満足度調査を実施する。 施設修繕、備品購入などの協議及び利用料金、定員変更などの協議等の収受、承認事務を行う。 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 前年度選考の指定管理者との基本協定、5施設との年度協定を締結した。 平成25年度期末モニタリング、平成26年度期中モニタリング、平成26年度利用者満足度調査を実施した。 施設修繕、備品購入などの協議及び利用料金、定員変更などの協議等の収受、承認事務を行った。
------	---

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数	人	55,305	56,477	56,596	119
		年間経費	円	2,944,784	3,102,445	4,336,848	1,234,403
		利用者1人あたりコスト	円/人	53	55	77	22

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>開設から10年以上経過している施設もあり、老朽化に伴って大規模改修の必要が生じている。 また、センター設置当初は先駆的な事業として公設の意義があったが、介護保険制度導入後は民間事業者の参入が進んだことから、今後の在宅サービスセンターのあり方について検討する時期に来ている。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各指定管理者により、高齢者在宅サービスセンターの運営・管理を行う。 27年度に指定期間を満了する3か所について、次期のための事務を行う。 庁内において、高齢者在宅サービスセンターの今後のあり方について検討する。 	28年度の計画	長沼の大規模改修を行う。
---------	--	---------	--------------

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>設立当初は民間事業者は少なく、事業を公設で行う必要があったが、民間事業者の数が増えてきた現状においては、公設施設としてのあり方を検討していく必要がある。 業務内容としては、指定管理者との基本協定締結業務が主なものであり、26年度の事業執行は妥当である。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	恩方老人憩の家				事業類型	施設運営							
担当部課	福祉部 高齢者いきいき課												
計画	編	2	章	2	施策番号	13					高齢者への支援		
予算	会計	一般会計			款	03	民生費	項	02	老人福祉費	目	02	老人福祉施設費
根拠	老人福祉法・施行規則、八王子市老人憩の家条例・施行規則、地方自治法244条の2												
目的	市内に居住する60歳以上の高齢者に対し、教養の向上及びレクリエーション等のための場を提供し、老人福祉の増進を図る。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		0.02人	0.02人	0.02人	0.00人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	計		0.02人	0.02人	0.02人	0.00人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	0	0							
	物件費		11,665,740	11,654,740	11,735,740	81,000							
	うち委託料		11,250,000	11,239,000	11,320,000	81,000							
	維持補修費		0	0	474,973	474,973							
	その他		0	0	0	0							
	計		11,665,740	11,654,740	12,210,713	555,973							
その他コスト	職員費		163,034	156,585	158,000	1,415							
	減価償却費		0	0	0	0							
	賞与引当金繰入額		10,648	10,704	11,027	323							
	退職給与引当金繰入額		11,598	1,067	0	1,067							
	計		185,280	168,356	169,027	671							
行政コスト 計			11,851,020	11,823,096	12,379,740	556,644							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		112,500	114,400	110,700	3,700							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0							
	一般財源		11,553,240	11,540,340	12,100,013	559,673							
	事業費財源 計		11,665,740	11,654,740	12,210,713	555,973							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	エアコンの修繕があったため維持補修費の増												

年度目標	老人福祉の増進を図るため、各種の催しや講座などを開催する。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	教室 5教室 計90回開催 合計参加者数1,292人 (25年度1,332人) サークル 計596回開催 合計参加者数 5,499人 (25年度5,383人) 個人利用状況 計11,314人 (25年度10,853人) 講座・行事・会議 計892人 (25年度793人) 年度目標で予定していた講座を一部変更し、社交ダンス体験講座、落語講座、防災訓練、文化祭などを開催 健康相談 計112人 (25年度90人)
------	--

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
		利用者数	人	18,476	18,451	19,441
	年間経費	円	11,851,020	11,823,096	12,379,740	556,644
	利用者1人あたりコスト	円/人	641	641	637	4

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】 事業費を前年と同水準で執行し、前年より利用者を増やすことができたことから、費用対効果の良い事業活動であった。	【26年度末時点の課題】 ・施設の老朽化 ・駐車場の不足
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度の取組	基本協定、年度協定、事業計画に基づき、継続して事業を実施していく。施設の老朽化に伴う修繕等には、迅速に対処していくとともに、利用者と協力して施設の適切な管理に努めていく。	28年度の計画	引き続き、基本協定等に基づき、事業を実施していく。 また、指定管理期間最終年度となることから、次期指定管理者候補者の選定を行う。
---------	---	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	【評価】 施設の老朽化対応による修繕費の増額はあるが、利用人数は堅調に伸びている。業務内容としては、指定管理者との基本協定締結業務が主なものであり、26年度の事業執行は妥当である。
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	学童保育所の管理運営					事業類型	施設運営						
担当部課	子ども家庭部 児童青少年課												
計画	編	3	章	1	施策番号	17	子育て・子育て支援の充実						
予算	会計	一般会計			款	03	民生費	項	03	児童福祉費	目	03	児童福祉施設費
根拠	八王子市学童保育所条例												
目的	市内の小学校に在籍する児童で、放課後家庭において適切な監護を受けられないものを、一定期間組織的に指導することにより、学童の健全な育成と福祉の増進に寄与する。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		3.50人	4.10人	4.20人	0.10人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.80人	0.80人	0.80人	0.00人							
	計		4.30人	4.90人	5.00人	0.10人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	2,906,238	2,906,238							
	物件費		1,663,101,358	1,728,385,243	1,760,900,673	32,515,430							
	うち委託料		1,620,216,306	1,684,143,141	1,713,930,657	29,787,516							
	維持補修費		38,146	0	0	0							
	その他		3,059,883	11,506,927	83,551,340	72,044,413							
	計		1,666,199,387	1,739,892,170	1,847,358,251	107,466,081							
その他コスト	職員費		31,212,490	34,563,333	36,071,713	1,508,380							
	減価償却費		37,989,844	40,119,080	38,312,329	1,806,751							
	賞与引当金繰入額		1,977,220	2,341,489	2,432,595	91,106							
	退職給与引当金繰入額		2,029,674	218,796	0	218,796							
	計		73,209,228	77,242,698	76,816,637	426,061							
行政コスト 計			1,739,408,615	1,817,134,868	1,924,174,888	107,040,020							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		612,460,086	591,373,595	651,093,000	59,719,405							
	市債		0	0	17,000,000	17,000,000							
	使用料・手数料		311,318,250	331,960,000	348,580,250	16,620,250							
	その他		0	44,405	4,233,747	4,189,342							
	一般財源		742,421,051	816,514,170	826,451,254	9,937,084							
	事業費財源 計		1,666,199,387	1,739,892,170	1,847,358,251	107,466,081							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	梶田小学童建設のための事業費増 在籍者数の増に伴う指定管理料の増(25年度 26年度 150人増)												

年度目標	27年度からの新制度に対応できる放課後児童健全育成事業のしくみの構築	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<p>(1)施設管理 各学童修繕(床、空調、サッシ等改修)</p> <p>(2)入退所事務、保育料徴収事務(対象児童拡大) (26.4.1現在)26年度申請者5,578人、入所者5,297人 (27.4.1現在)27年度申請者6,028人、入所者5,559人 徴収率 25年度現年 99.19%、26年度現年 99.42%</p> <p>(3)指定管理者(業務)の管理(指定管理者の選定6施設、期中、期末モニタリング等)</p> <p>(4)桐田小学童建設(校舎内から敷地内に移設)</p> <p>27年度からの対象年齢拡大を受けた施設準備、入所事務を計画どおり実施。指定管理者による放課後子ども教室の実施拡大も検討中。(27年度から松木小が社会福祉協議会による放課後子ども教室を実施)</p>
------	--

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	活動指標	学童保育所 入所延児童数	人	58,681	61,092	63,352	2,260
		待機児童数	人	49	98	193	95
		年間経費	円	1,739,408,615	1,817,134,868	1,924,174,888	107,040,020
		児童1人あたりコスト	円/人	29,642	29,744	30,373	629

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】 指定管理者の更新時期などで事業費は増額となった。 一方で、27年度から入所対象児童が拡大されることに伴い、入所施設を移設するなど、計画していた事業活動は実施できた。	【26年度末時点の課題】 依然として待機児童が増加していることから、今後も待機児の発生が見込まれていく施設に対しては、施設の増設、または新規施設の建設が必要である。
	【次年度の展開】 拡充	

27年度 の取組	待機児童が発生した箇所での新たな学童保育所の建設や既存施設を増築する。	28年度 の計画	新制度移行に対応するための新たな学童保育所の建設や既存施設を増築する。
-------------	-------------------------------------	-------------	-------------------------------------

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】 法改正により入所対象者が拡大し、初年度ということもあり事務量が増加したが、法改正に適切に対応した事務を執行した。学童保育所の運営は、指定管理者による効果的な運営に努めるとともに、引き続き待機児童の解消に取り組む必要がある。一方、保育料の徴収率向上の成果もあり、26年度の事業執行は妥当である。
-----------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	市立保育所の管理運営					事業類型	施設運営						
担当部課	子ども家庭部 保育幼稚園課												
計画	編	3	章	1	施策番号	17	子育て・子育て支援の充実						
予算	会計	一般会計			款	03	民生費	項	03	児童福祉費	目	03	児童福祉施設費
根拠	八王子市保育園条例												
目的	公立保育園を運営し、日々保育に欠ける乳幼児を保育し、心身の健全な育成を図る。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		154.14人		153.90人		149.75人		4.15人				
	任期付職員		2.40人		2.40人		0.00人		2.40人				
	再任用職員		9.20人		10.30人		17.55人		7.25人				
	計		165.74人		166.60人		167.30人		0.70人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		7,696,411		27,383,316		30,667,097		3,283,781				
	物件費		1,113,161,710		1,118,342,036		1,145,257,134		26,915,098				
	うち委託料		718,056,207		730,066,131		754,110,341		24,044,210				
	維持補修費		4,159,979		3,719,557		3,579,741		139,816				
	その他		37,737,089		208,459,204		186,381,752		22,077,452				
	計		1,162,755,189		1,357,904,113		1,365,885,724		7,981,611				
その他コスト	職員費		1,296,613,911		1,245,993,318		1,234,330,087		11,663,231				
	減価償却費		8,686,749		8,686,749		8,686,749		0				
	賞与引当金繰入額		83,748,108		84,673,533		85,130,516		456,983				
	退職給与引当金繰入額		89,386,865		8,212,874		0		8,212,874				
	計		1,478,435,633		1,347,566,474		1,328,147,352		19,419,122				
行政コスト 計			2,641,190,822		2,705,470,587		2,694,033,076		11,437,511				
事業費財源	国庫支出金		10,558,800		77,469,000		63,416,000		14,053,000				
	都支出金		112,459,500		119,917,000		124,294,500		4,377,500				
	市債		0		75,500,000		62,700,000		12,800,000				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		150,181,830		151,667,521		174,895,231		23,227,710				
	一般財源		889,555,059		933,350,592		940,579,993		7,229,401				
	事業費財源 計		1,162,755,189		1,357,904,113		1,365,885,724		7,981,611				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	津久田保育園の建替工事費の減額によるもの。												

年度目標	保育所定員の弾力化により定員以上の受入れを行う。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	直営の保育園(10園)において、先進的な保育の取組や障害児の積極的な受入れを実施するとともに、多様なニーズに対応した保育を提供した。 また、指定管理保育園(6園)について、保育の質を確保しつつ効率的に運営した。			
	年間延児童数 定員 入所児童数	平成24年度 17,160人	平成25年度 17,160人	平成26年度 17,160人 17,389人 17,223人

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			市立保育所 入所延児童数	人	17,417	17,389
	年間経費	円	2,641,190,822	2,705,470,587	2,694,033,076	11,437,511
	児童1人あたりコスト	円/人	151,644	155,585	156,421	836

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】 入所児童数は前年及び前々年とも定員以上を受け入れ、目標を達成した。	【26年度末時点の課題】 公立保育園の中長期的なあり方が課題である。
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度 の取組	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園のあり方検討会を実施する。 市内保育施設等の保育水準を向上させる。 津久田保育園を開園する。 指定管理者制度の更新・公募を行う。 	28年度 の計画	市内保育施設等の保育水準を向上させる。
-------------	--	-------------	---------------------

庁内評価 委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>「子育てしやすいまちナンバーワン」をめざす本市にとって、待機児童の解消はもとより、さまざまな保育サービスの充実は不可欠となっている。保育サービスの定員以上の受入れを行ったことにより、待機児童数の減少に寄与するなど成果が現れている中、保育サービスの更なる充実に向け、民間保育所では十分に担うことが難しい保育事業を公立保育所が実施していく必要がある。業務の範囲は多岐にわたり、役割に応じた分担がなされているため26年度の体制において執行した事業は妥当である。</p>
-----------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	戸吹湯ったり館管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	医療保険部 地域医療政策課												
計画	編	2	章	3	施策番号	14	健康の維持・増進						
予算	会計	一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
根拠	八王子市戸吹湯ったり館条例・施行規則												
目的	市民に心身の休息の場を提供するとともに、健康に関する知識の普及を図り、市民の健康増進に寄与する。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.62人		0.47人		0.50人		0.03人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.62人		0.47人		0.50人		0.03人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		50,146,566		48,365,571		50,423,499		2,057,928				
	うち委託料		50,086,270		48,365,571		50,423,499		2,057,928				
	維持補修費		0		0		0		0				
	その他		0		0		117,000		117,000				
	計		50,146,566		48,365,571		50,540,499		2,174,928				
その他コスト	職員費		5,378,251		3,979,328		3,950,000		29,328				
	減価償却費		15,346,138		15,346,138		15,346,138		0				
	賞与引当金繰入額		330,104		251,554		275,682		24,128				
	退職給与引当金繰入額		359,542		25,082		0		25,082				
	計		21,414,035		19,602,102		19,571,820		30,282				
行政コスト 計			71,560,601		67,967,673		70,112,319		2,144,646				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		50,146,566		48,365,571		50,540,499		2,174,928				
	事業費財源 計		50,146,566		48,365,571		50,540,499		2,174,928				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	指定管理者選定のための評価会議参加者謝礼の皆増 指定管理料の増(消費税及び地方消費税の税率変更による)												

年度目標	市民に心身の休息の場を提供し、市民の健康増進に寄与するために安定的な運営を図る。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	メニューの品目を増やしサービスの向上を図るとともに、露天風呂の施設の充実を行った。また、新たな指定管理者の決定を行った。
------	--

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			利用者数	人	79,725	84,026
	年間経費	円	71,560,601	67,967,673	70,112,319	2,144,646
	利用者1人あたりコスト	円/人	898	809	761	48

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	<p>【評価】</p> <p>指定管理者による管理運営において、利用者に対して施設を安定的かつ効果的に提供することができた。 また、利用者1人あたりコストも25年度より下がり、経済性のよい事業活動であった。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>施設の老朽化や同様の温浴施設の民間参入を考えると、今後の運営について検討の必要がある。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	施設の老朽化に対応するため、計画的な修繕を実施できるよう検討し、安定した施設管理を行うとともに、今後の運営について検討する。	28年度の計画	施設の老朽化に対応するため、計画的な修繕を実施し、安定した施設管理を行うとともに、今後の運営について検討する。
---------	--	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>当該施設の管理運営には、民間の経営ノウハウを取り入れた指定管理者制度を導入しており、一定の導入効果が現れている。当該事業にかかる市の一般職員の業務量は0.5人分であり、その主な内容は、指定管理者の業務にかかるモニタリング、指定管理者との調整事務、公衆浴場連絡協議会への対応などである。これらについては、一般職員の対応が求められる業務であり、また、効果・効率的な施設運営が行われたことから、26年度の事業執行は妥当である。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	看護専門学校運営				事業類型	施設運営							
担当部課	医療保険部 看護専門学校総務課												
計画	編	2	章	3	施策番号	16					地域医療の充実		
予算	会計	一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	06	看護学校費
根拠	八王子市立看護専門学校条例												
目的	高度な医療技術に対応できる質の高い看護師を養成し、中核病院をはじめとする市内医療機関への供給や地域医療への貢献に資すること。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		6.15人	6.85人	6.85人	0.00人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.80人	0.80人	0.80人	0.00人							
	計		6.95人	7.65人	7.65人	0.00人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		32,984,755	30,129,086	31,286,990	1,157,904							
	物件費		18,089,640	17,790,290	19,436,566	1,646,276							
	うち委託料		7,833,050	7,563,768	8,482,855	919,087							
	維持補修費		376,992	1,871,965	439,576	1,432,389							
	その他		9,809,840	10,050,408	12,134,826	2,084,418							
	計		61,261,227	59,841,749	63,297,958	3,456,209							
その他コスト	職員費		56,159,778	60,881,549	57,006,713	3,874,836							
	減価償却費		10,115,275	10,115,275	10,115,275	0							
	賞与引当金繰入額		3,388,152	3,813,353	3,893,710	80,357							
	退職給与引当金繰入額		3,566,428	365,550	0	365,550							
	計		73,229,633	75,175,727	71,015,698	4,160,029							
行政コスト 計			134,490,860	135,017,476	134,313,656	703,820							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		6,112,000	6,100,000	6,130,000	30,000							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		16,857,400	16,838,200	17,042,000	203,800							
	その他		83,887	100,226	110,159	9,933							
	一般財源		38,207,940	36,803,323	40,015,799	3,212,476							
	事業費財源 計		61,261,227	59,841,749	63,297,958	3,456,209							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	(報償費) 講師謝礼 10,926千円(前年度 9,884千円)---- 外部講師の授業時間の増によるもの (備品購入費) 備品購入費 1,083千円(前年度 0千円)												

年度目標	市内医療機関への就職率をアップさせる。 看護師国家試験合格率100%	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<p>平成26年度も、前年度に続き国家試験受験者全員が合格し、看護師不足の解消に貢献することができた。また、市内医療機関への就職率については、以下のとおりである。</p> <p>(平成26年度卒業生 41名)</p> <p>卒業後の市内医療機関への就職率(目標) …… 60%</p> <p> (実績) …… 24年度(57%) 25年度(43%) 26年度(61%)</p> <p>市内医療機関への就職率アップの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・38の病院に就職説明会に参加してもらおう働きかけ、15の病院の参加を得た。また、そこで各病院の担当者が2年生、3年生に対して説明を行い、就職先となるよう働きかけた。 ・3年生に対する就職模擬面接のなかで、市内医療機関に就職するよう働きかけた。
------	--

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			在籍者数(全生徒数)	人	118	118
看護師国家試験合格者数	人	37	35	41	6	
市内医療機関への就職者数	人	21	15	25	10	
年間経費	円	134,490,860	135,017,476	134,313,656	703,820	
在籍者1人あたりコスト	円/人	1,139,753	1,144,216	1,091,981	52,235	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>看護師国家試験合格率100%を達成するとともに、市内医療機関就職率も6割を超えることができ、目標以上となった。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	<p>看護師養成施設として、看護学生に対し高度な医療技術と最新の医療知識の習得のための教育を実施し、国家試験合格率100%、市内医療機関への就職率向上に取り組んでいく。</p>	28年度の計画	<p>学校施設として、良好な教育環境のもとで学習に専念できるように、施設の維持管理、物品等の調達を計画的に進め、看護師国家試験合格率100%と市内就職率のさらなる向上を図る。</p>
---------	--	---------	---

<p>市内評価委員会 (二次評価)</p>	<p>【評価】</p> <p>市内医療機関への人材供給や地域医療への貢献に資するための事業であるが、国家試験合格率は100%であり、26年度の市内医療機関への就職者数は過去3年間で最も多く、目標としていた就職率を達成している。</p> <p>また、当該事業を構成するいくつかの業務のうち、専門性が高くない業務については、臨時職員の活用が図られており、職員体制の適正化に取り組んでいることから26年度の事業執行は妥当である。</p>
---------------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	斎場運営					事業類型	施設運営						
担当部課	市民部 斎場事務所												
計画	編	2	章	1	施策番号	9	暮らしの相談・支援の充実						
予算	会計	一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	07	斎場費
根拠	八王子市斎場条例・施行規則												
目的	葬祭を執行する施設の貸し出し及び墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬を執行する施設の適切な管理運営を行う。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		1.04人	1.04人	1.06人	0.02人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		4.62人	4.62人	3.55人	1.07人							
	計		5.66人	5.66人	4.61人	1.05人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	2,855,234	0	2,855,234							
	物件費		115,710,265	117,332,770	122,477,827	5,145,057							
	うち委託料		76,584,978	76,753,251	80,320,139	3,566,888							
	維持補修費		10,467,475	9,549,939	13,788,786	4,238,847							
	その他		1,757,593	5,859,811	3,792,375	2,067,436							
	計		127,935,333	135,597,754	140,058,988	4,461,234							
その他コスト	職員費		25,255,076	25,465,974	21,205,976	4,259,998							
	減価償却費		41,589,260	41,589,260	41,589,260	0							
	賞与引当金繰入額		1,210,488	1,405,990	1,103,040	302,950							
	退職給与引当金繰入額		603,103	55,499	0	55,499							
	計		68,657,927	68,516,723	63,898,276	4,618,447							
行政コスト 計			196,593,260	204,114,477	203,957,264	157,213							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		4,710,750	4,090,500	4,922,694	832,194							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		55,880,400	56,785,000	55,607,600	1,177,400							
	その他		167,196	198,761	209,308	10,547							
	一般財源		67,176,987	71,668,259	79,319,386	7,651,127							
	事業費財源 計		127,935,333	132,742,520	140,058,988	7,316,468							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	物件費の増加理由は消費税率アップに伴うもの。維持補修費に関しては、年度末に煙突の緊急修繕工事を実施したことによるもの。												

年度目標	火葬の現状や将来の動向を取りまとめ、当面の取組方針を策定し、具体案をまとめる。	活動結果
		事業活動が計画よりやや下回った

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬件数の将来予測値を算出し、運営協議会へ報告した。 ・施設運営にかかる委託事業を実施した。 ・死亡者数の推計に基づき今後の火葬業務について検討したが、当面の取組方針の策定に至らなかった。 <p>26年度斎場施設利用状況 式場(第1・第2)・・・580件 待合室・・・55件 霊安室・・・139件 火葬室・・・4,387件 施設使用料収入 55,597,000円</p>
------	--

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	活動指標	運営協議会の開催	件	4	4	4	0
		年間経費	円	1,860,263	1,748,241	1,702,768	45,473
		協議会1回あたりコスト	円/件	465,066	437,060	425,692	11,368
	活動指標	火葬件数 (うち、式場等の貸出件数)	件	4,219 (584)	4,376 (585)	4,387 (580)	11 (5)
		年間経費	円	194,732,997	202,366,236	202,254,496	111,740
		火葬1回あたりコスト	円/件	46,156	46,245	46,103	142

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>年度目標に対する取組において、火葬業務にかかる当面の取組方針に沿った具体案の検討を進められず、次年度に持ち越した。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>改善</p>	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬件数将来予測値に基づく施設改修計画を策定する。 ・火葬件数増加対策を検討する。 ・友引日の火葬試行を実施する。 	28年度の計画	友引日に火葬を実施する。
---------	--	---------	--------------

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>近年の高齢化社会の影響から年々火葬件数は増加している。今後の火葬件数を想定すると現在の火葬炉での対応は難しく、現状の火葬炉の回転率の引き上げや新たな整備、火葬炉の増設を検討していく必要がある。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	霊園管理					事業類型	施設運営						
担当部課	市民部 市民生活課												
計画	編	2	章	1	施策番号	9	暮らしの相談・支援の充実						
予算	会計	一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	08	公衆衛生費
根拠	八王子市墓地等の経営の許可等に関する条例、八王子市霊園条例、墓地経営・管理の指針等について(生衛発第1764号)												
目的	墓地を持たない市民に安価で良質な墓地を供給するとともに霊園の適切な維持管理を図る。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		1.85人		1.85人		1.85人		0.00人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.55人		0.55人		0.55人		0.00人				
	計		2.40人		2.40人		2.40人		0.00人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		15,543,916		16,149,228		16,214,592		65,364				
	物件費		17,869,687		12,432,934		12,836,222		403,288				
	うち委託料		15,410,103		9,771,844		10,064,586		292,742				
	維持補修費		451,500		203,385		328,320		124,935				
	その他		0		677,767		91,692		586,075				
	計		33,865,103		29,463,314		29,470,826		7,512				
その他コスト	職員費		17,980,567		17,646,723		16,603,052		1,043,671				
	減価償却費		2,973,894		2,973,893		2,849,024		124,869				
	賞与引当金繰入額		1,063,177		1,091,278		1,100,369		9,091				
	退職給与引当金繰入額		1,072,828		98,725		0		98,725				
	計		23,090,466		21,810,619		20,552,445		1,258,174				
行政コスト 計			56,955,569		51,273,933		50,023,271		1,250,662				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		33,865,103		29,463,314		29,470,826		7,512				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		0		0		0		0				
	事業費財源 計		33,865,103		29,463,314		29,470,826		7,512				
事業費及び事業費財源の主な増減説明													

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 既存の霊園募集計画の見直し 本市の霊園安定供給の考え方を整理 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 安定供給や無縁化防止対策について、合葬式墓地等の先進市である千葉縣市川市の公営霊園を視察した。 緑町霊園及び甲の原霊園の使用者の募集、募集期間10/1～10/17 緑町・甲の原霊園の使用区画数の確認作業を行った。(緑町霊園で 10区画) 緑町霊園:承認22・返還11、甲の原霊園:承認4・返還9 合計 6区画の増となった。 (対前年では、整理分の 10と合わせ4区画の減となった) 緑町霊園:合葬式墓地1体用15・2体用40、区画墓地27区画を募集した。 また、募集に際し、8区画を小規模な24区画に分割し、うち、17区画で募集を行った。 甲の原霊園:区画墓地7区画を募集した。 緑町霊園及び甲の原霊園の維持管理、園内施設の保守を行うとともに、使用者からの管理料徴収を行った。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	使用区画数	区画		4,703	4,695	4,691
	年間経費	円		56,955,569	51,273,933	50,023,271	1,250,662
	1区画あたり管理コスト	円/区画		12,110	10,921	10,664	257

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<ul style="list-style-type: none"> 事業費は前年と同水準だが、嘱託員の創意工夫により墓参がしやすい環境を整えるなど、市民サービスの向上につなげた。 	
	【次年度の展開】	<ul style="list-style-type: none"> 安定的に墓地を供給する。 緑町霊園で、小規模区画に分割して募集をしたが、一部応募が無かった。分割予定区画については、隣接墓地とのバランス等を考えて検討する必要がある。
	現状維持	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 区画の新設が難しい状況の中、安定供給のためにも、無縁墳墓への対応を進め、墓地区画の適正な管理を行う。 緑町霊園の募集に際して、要望のある小規模区画への分割を検討する。 	28年度の計画	無縁墳墓の改葬・撤去を行う。
---------	--	---------	----------------

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>現在の墓地需要に合わせるために、既存の墓地を小区画に分割して募集をかけるといった工夫はみられるが、一部応募がなかった現状を考えると、更なる改善が求められる。</p> <p>一方、業務効率の観点からみると、再任用職員、嘱託職員の活用や除草清掃などの定型的な業務を委託するなど、職員体制の適正化に取り組んでいることから、26年度の事業執行は妥当である。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	南多摩都市霊園管理				事業類型	施設運営							
担当部課	市民部 市民生活課												
計画	編	2	章	1	施策番号	9	暮らしの相談・支援の充実						
予算	会計	一般会計			款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	南多摩都市霊園管理費
根拠	八王子市墓地等の経営の許可等に関する条例、八王子市霊園条例、墓地経営・管理の指針等について(生衛発第1764号)												
目的	墓地を持たない市民に安価で良質な墓地を供給するとともに霊園の適切な維持管理を図る。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		1.10人	1.10人	1.10人	0.00人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.25人	0.25人	0.25人	0.00人							
	計		1.35人	1.35人	1.35人	0.00人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		8,156,280	8,145,360	8,104,800	40,560							
	物件費		7,332,990	5,040,149	5,477,460	437,311							
	うち委託料		5,466,102	2,946,788	3,362,995	416,207							
	維持補修費		7,980	38,514	11,340	27,174							
	その他		10,996	44,802	11,832	32,970							
	計		15,508,246	13,268,825	13,605,432	336,607							
その他コスト	職員費		10,420,495	10,214,871	9,593,660	621,211							
	減価償却費		93,312	93,312	93,312	0							
	賞与引当金繰入額		621,209	634,706	643,021	8,315							
	退職給与引当金繰入額		637,898	58,701	0	58,701							
	計		11,772,914	11,001,590	10,329,993	671,597							
行政コスト 計			27,281,160	24,270,415	23,935,425	334,990							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		11,377,112	9,071,561	10,287,604	1,216,043							
	その他		4,131,134	4,197,264	3,317,828	879,436							
	一般財源		0	0	0	0							
	事業費財源 計		15,508,246	13,268,825	13,605,432	336,607							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	事業費財源のその他については、関係市負担金が減ったため												

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 南多摩都市霊園の経営方針を関連市で議論し方向性を定める 既存の霊園募集計画の見直しの検討 本市の霊園安定供給の考え方の整理 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 南多摩都市霊園八王子市区画分20区画募集し15区画使用承認、募集期間10/1～10/17 使用区画数の確認作業を行った。26年度末 総使用区画数 1,893 他市募集区画分の使用承認 総募集 52区画 使用承認 26区画 返還 4区画 (対前年 22区画の増) 霊園の維持管理、園内施設の保守を行うとともに、使用者からの管理料徴収を行った。 関係市(町田市・多摩市・稲城市)課長会議を7/28に開催し、安定供給に向けた小区画分割の検討や合葬式墓地について議論し、検討を継続していくこととした。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	使用区画数	区画		1,837	1,875	1,893
	年間経費	円		27,281,160	24,270,415	23,935,425	334,990
	1区画あたり管理コスト	円/区画		14,851	12,944	12,644	300

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>年間経費は前年と同水準であるが、使用区画数が増えたことにより単位当たりコストは若干減少している。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 関係市との連絡会を開催し、今後の対応等について意見交換を行う。 供給できる空区画が少なくなっている中、安定的な供給をするために、区画の増設や空区画を分割して小区画化するなどの検討を行う。 無縁墳墓への対応を進める。 	28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 関係市との連絡会を開催し、今後の対応等について意見交換を行う。 無縁墳墓の改葬・撤去を行う。
---------	---	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>霊園の安定供給に向けた小区画分割の検討や合葬式墓地について注視する必要がある。現行の霊園管理に当たっては、高齢者雇用対策の一環としてシルバー人材センターに除草清掃などの定型的な業務を委託しているが、墓石の設置等にかかる工事の監督や使用者からの申請手続などは、嘱託員を2名(週3日/人)活用している。このことから、既に業務の性格に応じた職員体制の適正化に取り組んでおり、26年度の事業執行は妥当である。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	北野余熱利用センターの管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	資源循環部 北野清掃工場												
計画	編	6	章	2	施策番号	46					循環型社会の構築		
予算	会計	一般会計			款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	ごみ減量・リサイクル推進費
根拠	八王子市余熱利用センター条例・施行規則												
目的	八王子市北野余熱利用センターの維持管理及び建設に伴う電波障害を補償し市民に安全・安心な施設利用、環境啓発等の向上を寄与する。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.92人		1.00人		1.00人		0.00人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.92人		1.00人		1.00人		0.00人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		155,490,803		161,452,330		160,660,586		791,744				
	うち委託料		149,799,976		155,281,878		154,308,416		973,462				
	維持補修費		6,888,357		3,588,900		7,574,558		3,985,658				
	その他		463,166		14,314,554		6,723,226		7,591,328				
	計		162,842,326		179,355,784		174,958,370		4,397,414				
その他コスト	職員費		7,918,508		8,527,674		7,900,000		627,674				
	減価償却費		122,334,969		122,334,969		122,334,969		0				
	賞与引当金繰入額		489,832		535,222		551,364		16,142				
	退職給与引当金繰入額		533,514		53,365		0		53,365				
	計		131,276,823		131,451,230		130,786,333		664,897				
行政コスト 計		294,119,149		310,807,014		305,744,703		5,062,311					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		162,842,326		179,355,784		174,958,370		4,397,414				
	事業費財源 計		162,842,326		179,355,784		174,958,370		4,397,414				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	・一部事業を指定管理業務から環境学習室(エコひろば)へ移管し再構築したことによる減 ・計画修繕見直しによる修繕費の減												

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による管理運営 ・経常的に発生する施設等への修繕対応 ・長期計画に基づく施設の管理及び修繕 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による適切な管理運営を実施した。 ・施設利用者のサービス向上を図るため、健康教室を開催した。 26年度:11,288人(開催数 513回) 25年度:7,145人 対前年度:4,143人増 ・施設の老朽化による計画的な修繕及び日々生じる経常的な修繕を実施した。 ・周辺地域電波障害事務を適正に行った。
------	---

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数	人	262,342	319,577	338,394	18,817
	年間経費	円	294,119,149	310,807,014	305,744,703	5,062,311	
	利用者一人あたりコスト	円/人	1,121	973	904	69	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>計画どおり事業を実施するとともに、コストを抑え、利用者数を増やすことができたことから、費用対効果の良い事業活動であった。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	
<p>平成34年に建設予定の新館清掃工場稼働により、北野清掃工場が休炉となるため、それに伴う北野余熱利用センターのあり方が課題である。</p>		

27年度の取組	北野余熱利用センターの今後のあり方や、余熱に代わるエネルギーを検討しながら、施設の安全・安心な運営と不具合、老朽箇所の修繕実施及び計画的な修繕を実施する。	28年度の計画	北野余熱利用センターの今後のあり方や、余熱に代わるエネルギーを検討しながら、施設の安全・安心な運営と不具合、老朽箇所の修繕実施及び計画的な修繕を実施する。
---------	---	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>北野余熱利用センター(あったかホール)の運営には指定管理者制度を導入しているため、施設本体及び熱源元である設備の維持・補修が主な業務である。施設の老朽化から緊急修繕への対応など突発的に発生する業務も多く、今後のセンターのあり方・方向性が確定するまでは、現状を維持していくことが妥当である。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	道の駅八王子滝山の管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	産業振興部 農林課												
計画	編	5	章	3	施策番号	42 地域資源を活用する産業の振興							
予算	会計	一般会計			款	06	農林業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
根拠	八王子市道の駅条例												
目的	消費者の「食」に対する安全・安心への要求に応え、農業をはじめとする地域産業の安定を図るため「道の駅八王子滝山」を指定管理者制度のもとに適切に管理運営する												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.62人		0.66人		0.64人		0.02人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.62人		0.66人		0.64人		0.02人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		33,756		1,025,168		100,115		925,053				
	うち委託料		0		323,442		0		323,442				
	維持補修費		525,000		816,217		0		816,217				
	その他		125,000		1,102,000		463,040		638,960				
	計		683,756		2,943,385		563,155		2,380,230				
その他コスト	職員費		5,477,099		5,750,826		5,056,000		694,826				
	減価償却費		7,207,477		7,207,477		7,207,477		0				
	賞与引当金繰入額		330,105		353,247		352,873		374				
	退職給与引当金繰入額		359,542		35,221		0		35,221				
	計		13,374,223		13,346,771		12,616,350		730,421				
行政コスト 計		14,057,979		16,290,156		13,179,505		3,110,651					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		1,477,717		0		1,477,717				
	一般財源		683,756		1,465,668		563,155		902,513				
	事業費財源 計		683,756		2,943,385		563,155		2,380,230				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	平成25年度の事業費は道の駅代替地(梅坪町63)の売り払いに伴う、登記類、水路切り直し工事等があり、増額していた。 平成26年度は通常に戻ったため、対前年比では減額となった。												

年度目標	新滝山街道沿道に整備した大型農産物直売所を核とする地域振興施設を併設した都内唯一の「道の駅八王子滝山」を指定管理制度のもとに適切に管理運営する。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者への休憩の場の提供 ・農産物等の地場産品、飲食物その他の物品を販売するための施設の提供 ・観光情報及び地域情報の発信 ・市民及び来訪者の交流の促進 		
市への分配金	平成24年度 10,081,000円	平成25年度 9,585,000円	平成26年度 9,791,000円

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	道の駅八王子滝山の売上高		円	940,780,896	941,893,274	935,791,451
	年間経費		円	14,057,979	16,290,156	13,179,505	3,110,651
	-		-	-	-	-	-

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>経営状況は市への分配金が発生するなど良好である。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	<p>開設から8年目を迎えた施設では一部老朽化に伴う修繕やリニューアル等の利用者の飽きを回避するための取り組みを行う必要がある。</p>

27年度の取組	ウッドデッキ全面改修工事	28年度の計画	駐車場舗装改修工事
---------	--------------	---------	-----------

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>指定管理者制度を活用して効果・効率的な管理・運営を行っている。売上、管理委託料ともに前年と同水準であり、目的に沿った安定した運営となっている。また、1千万円弱の分配金を協定に基づき収入している。</p> <p>一方で、開設から8年ではあるが、雨漏りが生じるなど施設は老朽化している。食品を扱う施設なので、衛生観念上、細心の注意が必要であり、指定管理者と連携し、適切な管理運営を継続することが妥当である。</p>
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	農村環境改善センター管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	産業振興部 農林課												
計画	編	5	章	3	施策番号	42 地域資源を活用する産業の振興							
予算	会計	一般会計			款	06	農林業費	項	01	農業費	目	04	農村環境施設管理費
根拠	八王子市農村環境改善センター条例												
目的	農業者等に対し、農業経営及び生活改善並びに健康の増進等に必要な施設を供与し、農村環境の改善を図る。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		0.30人	0.30人	0.30人	0.00人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	計		0.30人	0.30人	0.30人	0.00人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	0	0							
	物件費		11,067,000	11,067,000	11,211,500	144,500							
	うち委託料		11,067,000	11,067,000	11,211,500	144,500							
	維持補修費		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0							
	計		11,067,000	11,067,000	11,211,500	144,500							
その他コスト	職員費		2,650,210	2,614,012	2,370,000	244,012							
	減価償却費		2,927,793	2,927,793	2,927,793	0							
	賞与引当金繰入額		159,728	160,566	165,409	4,843							
	退職給与引当金繰入額		173,972	16,010	0	16,010							
	計		5,911,703	5,718,381	5,463,202	255,179							
行政コスト 計			16,978,703	16,785,381	16,674,702	110,679							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		0	0	0	0							
	その他		187,671	186,428	196,682	10,254							
	一般財源		10,879,329	10,880,572	11,014,818	134,246							
	事業費財源 計		11,067,000	11,067,000	11,211,500	144,500							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	消費税率引き上げ分(5%から8%への3%分)を指定管理料に計上したため。												

年度目標	指定管理者による施設の適切な管理運営	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	年間利用者数	24年度	25年度	26年度
	恩方農村環境改善センター	8,878人	11,935人	11,442人
	上川農村環境改善センター	11,797人	9,919人	8,870人

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数 (2センター合計)	人	20,675	21,854	20,312	1,542
		年間経費	円	16,978,703	16,785,381	16,674,702	110,679
		利用者1人あたりコスト	円/人	821	768	821	53

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	消費税引き上げの影響から事業費は増額となっているが、利用者数は伸び悩んでいる。	
	【次年度の展開】	施設の老朽化への対応が課題である。
	現状維持	

27年度 の取組	<ul style="list-style-type: none"> 今後の修繕計画を作成する。 施設の目的は異なるが、利用実態は、市民センターや保健福祉センター等にある会議室と同様であるため、今後の必要性を検討する。 	28年度 の計画	平成27年度に作成した修繕計画をもとに施設の修繕を実施する。
-------------	---	-------------	--------------------------------

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】
	<p>両センターともに管理運営業務は指定管理者制度を導入している。市の職員が担っている主な業務は、指定管理者との調整である。</p> <p>一方で、施設設置時の目的は、農業者等に対する健康増進や余暇利用であるが、現在は市民センターなどの集会施設と同様の利用がされており、運営方法や施設のあり方について検討する必要がある。</p>

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	観光関連施設等の環境整備					事業類型	施設運営						
担当部課	産業振興部 観光課												
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興						
予算	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠	八王子市いきいき産業基本条例、八王子市観光施設条例、観光立国推進基本法												
目的	<p>市内観光地に設置されている観光施設の利便性及び公衆衛生の向上を図り、観光客の安全確保及び観光施設の効果的な運営と維持管理を実施することにより観光客の満足度を高めることを目的とする。</p> <p>ボランティアガイド制度やファンクラブの運営を補助し、高尾山等の魅力を効果的に伝えることにより、リピーターの確保や来山者の増加につなげる。</p>												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		1.18人		2.25人		2.75人		0.50人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		1.18人		2.25人		2.75人		0.50人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		40,425,023		25,643,591		29,482,491		3,838,900				
	うち委託料		37,383,924		22,025,317		23,748,538		1,723,221				
	維持補修費		639,172		1,040,980		506,347		534,633				
	その他		14,517,191		19,134,246		32,766,608		13,632,362				
	計		55,581,386		45,818,817		62,755,446		16,936,629				
その他コスト	職員費		10,196,480		20,064,026		21,725,000		1,660,974				
	減価償却費		0		0		936,723		936,723				
	賞与引当金繰入額		628,260		1,204,249		1,516,251		312,002				
	退職給与引当金繰入額		684,290		120,071		0		120,071				
	計		11,509,030		21,388,346		24,177,974		2,789,628				
行政コスト 計			67,090,416		67,207,163		86,933,420		19,726,257				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		17,120,000		0		5,490,000		5,490,000				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		35,974,880		43,580,239		41,221,734		2,358,505				
	その他		716,506		342,255		501,974		159,719				
	一般財源		1,770,000		1,896,323		15,541,738		13,645,415				
	事業費財源 計		55,581,386		45,818,817		62,755,446		16,936,629				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	<p>高尾山口駅前広場整備に伴う土地交換や大型駐車場の高尾山ICへの移設、また、観光案内所の高尾山口駅舎内への移設などにより、増額及び人員体制増となった。</p>												

年度目標	観光客が快適に、移動・滞在・観光することができる環境整備の推進	活動結果
		事業活動を計画以上に実施することができた

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地公衆トイレの清掃、維持管理 ・高尾山麓駐車場の運営 ・高尾山口駅前広場改修に伴い土地交換業務(鑑定/登記) ・ハイキングコース等清掃 ・観光施設維持管理 ・高尾陣馬特別警戒連絡協議会への参加 ・高尾ボランティアガイド、高尾陣馬ファンクラブ補助金 ・高尾山口観光案内所の整備(許可申請/建築工事/運営準備) ・高尾山観光駐車場の整備(排水撤去/電気移設・新設/管理棟移設/舗装整備等)
------	---

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	高尾山麓駐車場 駐車台数	台	75,420	68,827	69,527	700
	年間経費	円	67,090,416	67,207,163	86,933,420	19,726,257	
	駐車1台あたりコスト	円/台	890	976	1,250	274	

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	<p>【評価】</p> <p>著名な建築家がデザインした観光案内所を高尾山口駅舎内に移設することで、駅舎目的の観光客の獲得につながった。また、高尾山麓駐車場が一体的に市の管理となり、駐車台数の増加につながった。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>高尾山口駅の観光案内所及び高尾山IC下に整備した大型バス駐車場を運営管理を実施する八王子観光協会と詳細について調整する必要がある。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度 の取組	高尾山口観光案内所及び高尾山麓駐車場の運営管理並びにその他の観光関連施設の維持管理を実施する。	28年度 の計画	観光関連施設の維持管理を実施する。
-------------	---	-------------	-------------------

庁内評価 委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>26年度は、高尾山口駅前広場整備に伴う土地の交換業務や高尾山IC下への大型バス駐車場整備を実施した。土地の交換業務は相手方との調整や登記など専門性が高く、仕事量が一時的に増加した一方、大型バス駐車場整備は事務の一部を委任するなど効果的な執行となった。通常業務は駐車場の管理にかかる委託などであり、職員体制の適正化に取り組んでいることから、26年度の事業執行は妥当である。</p>
-----------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	交流拠点施設の整備					事業類型	施設運営						
担当部課	産業振興部 観光課												
計画	編	5	章	3	施策番号	41					にぎわいにつながる産業の振興		
予算	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠	八王子市夕やけ小やけふれあいの里条例・施行規則、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例												
目的	自然に親しむレクリエーション活動を行う場を提供することにより、農林業など地域の振興を図るとともに、市民の余暇活動の充実に資することを目的とする												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		1.05人		1.12人		1.22人		0.10人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		1.05人		1.12人		1.22人		0.10人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		100,628,422		101,508,702		105,414,842		3,906,140				
	うち委託料		96,437,000		97,350,000		100,555,000		3,205,000				
	維持補修費		1,671,495		827,400		480,870		346,530				
	その他		1,624,053		1,115,840		6,881,760		5,765,920				
	計		103,923,970		103,451,942		112,777,472		9,325,530				
その他コスト	職員費		9,073,138		9,987,426		9,638,000		349,426				
	減価償却費		46,927,252		46,313,893		45,867,436		446,457				
	賞与引当金繰入額		559,049		599,450		672,664		73,214				
	退職給与引当金繰入額		608,902		59,768		0		59,768				
	計		57,168,341		56,960,537		56,178,100		782,437				
行政コスト 計		161,092,311		160,412,479		168,955,572		8,543,093					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		483,071		366,250		393,719		27,469				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		103,440,899		103,085,692		112,383,753		9,298,061				
	事業費財源 計		103,923,970		103,451,942		112,777,472		9,325,530				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	事業費委託料については、消費税率引き上げ及び、光熱費(電気料金)高騰による指定管理料増。都支出金は障害者施策推進区市町村包括補助金(ワークセンターへの園路清掃委託分)。												

年度目標	夕やけ小やけふれあいの里の適切な維持管理に努める。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<p>自然に親しむレクリエーション施設の効率的及び効果的な運営と利用者の安全を確保し、快適に訪れることができる施設の管理・運営を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度による管理運営 ・施設維持のための修繕等
------	---

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			夕やけ小やけふれあいの里利用者数	人	103,254	99,748
	年間経費	円	161,092,311	160,412,479	168,955,572	8,543,093
	利用者1人あたりコスト	円/人	1,560	1,608	1,777	169

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>26年度は修繕を行わなければならない箇所が多く事業費が増額となっているが、集客を見込める土日に天気が悪いことが多く、利用者数が減少した。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・木造部分の老朽箇所を補修する。 ・イベント内容を検討し、来園者数の増を図る。 ・地域農業関係者と連携する。 	28年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の施設のあり方について関係者と検討する。 ・施設の老朽化に対応する。 ・来園者増に向けた企画を実施する。 ・地域農業関係者との連携を強化する。
---------	--	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>屋外施設で、冬期は多くの入場者が望めない立地のため、来場者が多く見込まれる夏季の土日祝日に悪天候の日が多かったことが、利用者が減少した要因である。周辺の高尾山も来訪者が減少していることを考えると、利用者の減は地域的なものとも言えるが、施設そのものやイベントの市域内外へのPRが十分とは言えないことから、シニアクラブや子ども会、SNSを利用した周知活動など、利用者数を増やす取組が必要である。</p>
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	自転車駐車場の管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	道路交通部 交通事業課												
計画	編	4	章	3	施策番号	33 安全・快適な道路環境の整備							
予算	会計	一般会計			款	08	土木費	項	03	都市計画費	目	01	都市計画総務費
根拠	自転車法、八王子市自転車等の放置の防止に関する条例												
目的	各駅周辺等に開設された自転車駐車場を適切に管理・運営することにより、利用者の安全確保と利便性の向上を図り、併せて放置自転車の抑制を図る。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		1.26人	1.90人	1.30人	0.60人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.12人	0.12人	0.15人	0.03人							
	計		1.38人	2.02人	1.45人	0.57人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		0	0	0	0							
	物件費		54,511,512	60,952,009	58,637,222	2,314,787							
	うち委託料		849,450	1,455,720	609,120	846,600							
	維持補修費		0	126,000	210,600	84,600							
	その他		144,585	1,596,000	426,600	1,169,400							
	計		54,656,097	62,674,009	59,274,422	3,399,587							
その他コスト	職員費		11,528,456	16,847,281	10,812,196	6,035,085							
	減価償却費		28,794,545	28,794,545	28,794,545	0							
	賞与引当金繰入額		687,916	1,038,984	738,686	300,298							
	退職給与引当金繰入額		730,683	101,394	0	101,394							
	計		41,741,600	46,782,204	40,345,427	6,436,777							
行政コスト 計			96,397,697	109,456,213	99,619,849	9,836,364							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		0	0	0	0							
	その他		1,070,250	1,098,757	1,110,303	11,546							
	一般財源		53,585,847	61,575,252	58,164,119	3,411,133							
	事業費財源 計		54,656,097	62,674,009	59,274,422	3,399,587							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	<p>自転車駐車場用地として賃貸借していた土地について、市(拠点整備部)で購入したため、その分の賃貸借料が減となった。</p> <p>また、平成26年度は、八王子駅南口バイク駐車場整備を他事業としたため、本事業の仕事量が減少。</p>												

年度目標	平成27年度中に、自転車駐車場又はバイク駐車場の用地を確保できるよう交渉を進める。	活動結果
		事業活動が計画よりやや下回った

活動実績	<p>年度目標に対する活動実績は、自転車等の駐車場用地を確保するため候補地を調査し、地権者に対して交渉のための通知をしたが、応じてもらうことができず、交渉の場を設けるまでに至らなかった。</p> <p>通常業務にかかる活動実績は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場 64か所 収容台数31,313台 ・市管理(無料) 17か所 収容台数2,857台 ・(公財)自転車駐車場整備センター運営(有料) 38か所 収容台数25,931台 ・(一財)八王子市まちづくり公社運営(有料) 5か所 収容台数2,425台 ・民間事業者運営自転車駐輪帯(有料) 4か所 収容台数100台 (平成27年3月31日現在)
------	---

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	活動指標	有料自転車駐車場 年間利用台数(推計)	台	7,009,510	7,073,865	7,199,525	125,660
		年間経費	円	89,266,718	99,405,813	92,393,343	7,012,470
		駐車1台あたりコスト	円/台	12.74	14.05	12.83	1.22
	活動指標	無料自転車駐車場 年間利用台数(推計)	台	756,400	724,985	683,200	41,785
		年間経費	円	7,130,979	10,050,400	7,226,506	2,823,894
		駐車1台あたりコスト	円/台	9.43	13.86	10.58	3.28

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	<p>【評価】</p> <p>賃貸借していた土地を購入したことによって事業費は減少したが、年度目標を達成できなかった。</p> <p>引き続き、用地確保に向けた取組を進めるとともに、自転車駐車場の適切な管理運営につとめる。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>他事業計画の影響を受け、自転車駐車場用地を維持確保することができないことがある。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度 の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高尾駅北口自転車駐車場を建て替える。 ・運営事業者と連携を図り、自転車駐車場の適切な管理運営を行うとともに、費用負担の観点から、無料開放施設有料化について検討を行う。 	28年度 の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・西八王子駅南口自転車駐車場を建て替える。 ・年度末で運営期間が終わる自転車駐車場整備センター施設について、適切な手法による期間延伸を行う。
-------------	---	-------------	---

庁内評価 委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>当該事業は、無料の自転車駐車場(以下「施設」という。)のみ市で管理しており、有料施設の管理運営は、市との協定に基づき財団等が実施している。また、有料施設の使用料収入は、財団等の収入となり、修繕対応にかかる費用も財団等の負担で施設運営している。</p> <p>市の毎年度の事業費の約9割が施設の設置のために借り上げている賃借料であり、その他は無料施設の維持管理にかかる経費である。</p> <p>事業全体の仕事量は、1.45人分であるが、定型的な事務は少ないため、26年度の事業執行は妥当である。今後、無料施設の有料化を拡大していった場合、市が管理する施設数が減少していくとともに、経費の縮減にもつながることから検討を要する。</p>
-----------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	公園管理		事業類型	施設運営	
担当部課	まちなみ整備部 公園課				
計画	編 4 章 1	施策番号 28	誰もが快適なまちづくり		
予算	会計	一般会計	款 08	土木費 項 03 都市計画費 目 09 公園費	
根拠	都市公園法、八王子市都市公園条例、八王子市児童遊園条例				
目的	公園を適切に維持管理し、住民の福祉の向上に資する。				
人員体制		24年度	25年度	26年度	対前年度
	一般職員	8.86人	9.51人	9.38人	0.13人
	任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	再任用職員	0.50人	0.00人	0.50人	0.50人
	計	9.36人	9.51人	9.88人	0.37人
行政コスト	(単位 円)				
事業費		24年度	25年度	26年度	対前年度
	人件費	2,740,642	0	0	0
	物件費	1,091,163,846	1,142,602,427	1,194,336,459	51,734,032
	うち委託料	1,078,463,403	1,130,521,572	1,186,326,768	55,805,196
	維持補修費	1,214,955	922,855	1,873,999	951,144
	その他	768,837	1,412,250	109,130	1,303,120
	計	1,095,888,280	1,144,937,532	1,196,319,588	51,382,056
その他コスト	職員費	79,821,647	82,159,973	75,855,524	6,304,449
	減価償却費	45,781,144	45,368,449	45,902,554	534,105
	賞与引当金繰入額	4,788,376	5,089,965	5,244,836	154,871
	退職給与引当金繰入額	5,137,975	507,501	0	507,501
	計	135,529,142	133,125,888	127,002,914	6,122,974
行政コスト 計		1,231,417,422	1,278,063,420	1,323,322,502	45,259,082
事業費財源	国庫支出金	0	0	0	0
	都支出金	1,560,798	1,225,350	1,401,327	175,977
	市債	0	0	0	0
	使用料・手数料	3,830,580	3,895,160	4,030,760	135,600
	その他	9,813,334	10,179,927	6,904,256	3,275,671
	一般財源	1,080,683,568	1,129,637,095	1,183,983,245	54,346,150
	事業費財源 計	1,095,888,280	1,144,937,532	1,196,319,588	51,382,056
事業費及び事業費財源の主な増減説明	指定管理者により管理する公園の地区割りの変更による増額				

年度目標	公園、緑地等を適切に維持管理し、利用者の安全確保と市民の憩いの場として良好な環境を維持する。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	公園の維持管理業務 直営の公園(未公告含む)、児童遊園、まちの広場の樹木剪定、除草、清掃 指定管理者の指定及び業務モニタリング 所有地の広場の維持管理業務受託 公園の維持管理に係る事務及び予算執行管理			
	公園の維持管理に対する苦情件数	平成24年度 2,290件	平成25年度 2,022件	平成26年度 2,037件

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			公園管理面積(合計)	m ²	5,994,433	6,015,527
	年間経費	円	1,231,417,422	1,278,063,420	1,323,322,502	45,259,082
	公園1m ² あたりの管理コスト	円/m ²	205	212	217	5

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】 公園の維持管理は、平成18年度から順次指定管理者制度を導入し、実施してきた。当該事務事業は、年度目標にあるとおり、公園の適切な維持管理と良好な環境の維持を一義としており、26年度についても指定管理者制度を運用し、事業活動を計画どおり実施することができた。	【26年度末時点の課題】 公園管理面積の毎年度の増加に伴い、維持管理にかかる経費も増加していくが、単位当たりコストが上昇傾向にあるため、平準化する取組が必要である。
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度 の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による公園の維持管理を行う。 公園内有料運動施設に利用料金制を導入する。 公園施設の設置等の許可に係る使用料の収入増加へ取り組む。 	28年度 の計画	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による公園の維持管理を行う。 公園施設の設置等の許可に係る使用料の収入増加へ取り組む。
-------------	--	-------------	---

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】 当該事業は、指定管理者制度の導入による管理を基本とするほか、一部の公園については業務委託や直営による管理を実施しており、公園の規模や性格に応じた適切な管理が行われていることから、苦情件数に大きな変化はなく、26年度の事業執行は妥当である。しかし、単位当たりコストが上昇傾向にあるため、費用対効果を向上させる取組の検討を要する。
-----------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	教育センター管理運営					事業類型	施設運営						
担当部課	学校教育部 指導課												
計画	編	3	章	2	施策番号	21	学びやすい教育環境づくり						
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	04	教育センター費
根拠	八王子市教育センター条例・施行規則												
目的	教育に関する研究及び調査並びに研修等を行い、本市における教育の充実と振興を図るために設置している教育センターの目的が実現できるよう、教育センターの管理運営及びセンター内外の環境整備を推進する。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		0.40人	0.70人	0.50人	0.20人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.30人	0.45人	0.45人	0.00人							
	計		0.70人	1.15人	0.95人	0.20人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		3,964,244	3,617,385	3,661,343	43,958							
	物件費		19,663,369	20,496,902	20,329,621	167,281							
	うち委託料		8,185,778	8,252,319	8,507,539	255,220							
	維持補修費		165,165	1,670,655	1,612,823	57,832							
	その他		268,090	2,374,031	55,846	2,318,185							
	計		24,060,868	28,158,973	25,659,633	2,499,340							
その他コスト	職員費		4,442,162	7,711,908	5,576,588	2,135,320							
	減価償却費		0	0	0	0							
	賞与引当金繰入額		255,616	457,385	341,419	115,966							
	退職給与引当金繰入額		231,962	37,356	0	37,356							
	計		4,929,740	8,206,649	5,918,007	2,288,642							
行政コスト 計			28,990,608	36,365,622	31,577,640	4,787,982							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		37,549	24,000	24,000	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		0	0	0	0							
	その他		192,012	199,888	171,403	28,485							
	一般財源		23,831,307	27,935,085	25,464,230	2,470,855							
	事業費財源 計		24,060,868	28,158,973	25,659,633	2,499,340							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	教育センター西館北側の地面が部分陥没し、汚水管及び雨水管が集水枡から外れていることが判明した。25年度に緊急工事を行ったことにより、事業費が増額となっている。												

年度目標	老朽化し、耐用年数を超えた各設備の改修工事を計画的に行う。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターの管理運営に必要な物品及び備品の購入 ・使用契約(AED・複写機)及び支払事務 ・研修室や機器の貸し出し及び管理 ・光熱水費、建物修繕等の契約・支払事務 ・委託の契約・支払事務(清掃、警備、空調保守、自動ドア、消防設備、自家用電気工作物保守、昇降機設備保守等) ・施設維持工事の契約及び支払事務
------	---

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	活動指標	研修室の利用数	回	1,586	1,992	1,794	198
		開館日数	日	256	270	266	4
		年間経費	円	28,990,608	36,365,622	31,577,640	4,787,982
		開館一日あたりコスト	円/日	113,245	134,687	118,713	15,974

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>大会議室の設備、自動扉、空調等の修繕を計画どおり実施することができた。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	<p>施設の老朽化により、修繕を要する設備が存在する。また、中核市移行により教職員研修の実施が本市に移行されるが、ICT教育を推進するためのネットワーク環境が整備されていない。</p>

27年度の取組	28年度に予定する修繕を要する設備の修繕に向けて準備を進める。	28年度の計画	修繕を要する設備の修繕を行うとともに29年度に予定する空調設備の更新やネットワーク環境の整備に向け準備を進める。
---------	---------------------------------	---------	--

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>管理運営業務については、施設の受付業務といった定型的な業務があり、職員体制の適正化に取り組む余地がある。</p> <p>また、当該施設については中核市移行に伴う教職員研修の充実が求められることから、今後は計画的に施設改修を進めていく必要がある。</p>
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	姫木平自然の家管理運営					事業類型	施設運営						
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課												
計画	編	3	章	3	施策番号	22	市民がつながる生涯学習						
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	04	生涯学習費	目	02	生涯学習施設管理費
根拠	八王子市姫木平自然の家条例												
目的	恵まれた自然環境の中で、自然探求や様々な野外活動と集団生活を通じて、規律、協働、友愛、奉仕の精神など豊かな情操を養い、少年の心身の健全な育成を図る。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.15人		0.10人		0.20人		0.10人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.15人		0.10人		0.20人		0.10人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		45,465,789		45,454,869		47,042,174		1,587,305				
	うち委託料		43,600,000		43,600,000		45,194,285		1,594,285				
	維持補修費		127,932		0		0		0				
	その他		168,366		88,686		55,237		33,449				
	計		45,762,087		45,543,555		47,097,411		1,553,856				
その他コスト	職員費		1,266,579		879,086		1,580,000		700,914				
	減価償却費		6,004,057		6,004,057		6,004,057		0				
	賞与引当金繰入額		79,864		53,522		110,273		56,751				
	退職給与引当金繰入額		86,986		5,337		0		5,337				
	計		7,437,486		6,942,002		7,694,330		752,328				
行政コスト 計			53,199,573		52,485,557		54,791,741		2,306,184				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		45,762,087		45,543,555		47,097,411		1,553,856				
	事業費財源 計		45,762,087		45,543,555		47,097,411		1,553,856				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	消費税率引き上げ分(5% 8%)及び利用料金消費税影響分												

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営を行う。 期中・期末のモニタリング等を通じて施設の適切な運営に関与する。 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	平成24年度 利用者数 延べ14,470名 うち小学校 32回 1,982名 中学校 30回 4,424名 青少年・社会教育関係団体 39回 3,086名	平成25年度 利用者数 延べ14,754名 うち小学校 39回 3,419名 中学校 29回 4,724名 青少年・社会教育関係団体 29回 2,957名
	平成26年度 利用者数 延べ15,068名 うち小学校 44回 3,713名 中学校 27回 3,957名 青少年・社会教育関係団体 35回 2,808名	

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数		人	14,470	14,754	15,068
	年間経費		円	53,199,573	52,485,557	54,791,741	2,306,184
	利用者1人あたりコスト		円/人	3,677	3,557	3,636	79

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	平成26年度は延べ15,068名の利用があり、前年度実績を上回った。 【次年度の展開】 現状維持	平成27年度末で指定管理期間が満了となるが、近年利用者のおよそ3割が市外住民であることを踏まえ、市内・市外均一料金の適否について検討を行う。 また、設備の老朽化について指定管理者と協議の上、対応する。

27年度の取組	次期指定管理者を公募する。 (3年間の指定期間)	28年度の計画	今後の施設運用方法等について関係者と協議するとともに、利用者への影響調査を行う。
---------	-----------------------------	---------	--

庁内評価委員会 (二次評価)	【評価】 施設の老朽化による維持管理コストの増加などを想定した取組を進めている。 また、指定管理者と共に利用者数を増やす努力をし、結果的にも利用者数が増加しているため、26年度の事業執行は妥当である。
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	国史跡八王子城跡の保存整備				事業類型	施設運営							
担当部課	生涯学習スポーツ部 文化財課												
計画	編	3	章	4	施策番号	25 市民が誇れる歴史と伝統文化の継承							
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	04	生涯学習費	目	03	文化財保護費
根拠	文化財保護法、八王子市国史跡八王子城跡ガイダンス施設条例												
目的	八王子城跡を保存・活用することで、八王子城の歴史的・学術的価値や現在の八王子市へ発展した町の歴史を広く知らせ、市民の郷土に対する意識を高める。また、観光資源として活用を図る。来訪者が安全・快適に学習できる環境を確保するため、ガイダンス施設をはじめ、史跡指定地域内の維持管理を行う。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.62人		1.57人		1.62人		0.05人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.65人		0.43人		0.33人		0.10人				
	計		1.27人		2.00人		1.95人		0.05人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		5,571,804		5,580,640		5,584,276		3,636				
	物件費		62,221,190		29,642,711		22,848,949		6,793,762				
	うち委託料		59,198,824		27,763,677		20,628,847		7,134,830				
	維持補修費		122,797		254,520		200,880		53,640				
	その他		128,941,946		12,897,742		18,228,110		5,330,368				
	計		196,857,737		48,375,613		46,862,215		1,513,398				
その他コスト	職員費		7,541,865		15,290,703		13,990,831		1,299,872				
	減価償却費		3,587,266		3,587,266		3,587,266		0				
	賞与引当金繰入額		422,506		919,352		941,417		22,065				
	退職給与引当金繰入額		359,542		83,783		0		83,783				
	計		11,911,179		19,881,104		18,519,514		1,361,590				
行政コスト 計			208,768,916		68,256,717		65,381,729		2,874,988				
事業費財源	国庫支出金		87,306,000		18,908,000		4,650,000		14,258,000				
	都支出金		57,476,000		5,854,000		6,225,000		371,000				
	市債		22,900,000		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		179,985		0		0		0				
	一般財源		28,995,752		23,613,613		35,987,215		12,373,602				
	事業費財源 計		196,857,737		48,375,613		46,862,215		1,513,398				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	曳橋架替工事実施設計、既存曳橋撤去工事による増 御主殿発掘調査業務及び遺構表示等展示実施設計の減												

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス施設及び史跡指定地域内の維持管理 ・御主殿跡の第2次復元的整備工事等の整備活用 ・検討委員会の意見及び確認調査資料を反映した保存管理計画の策定 ・曳橋架替工事实施設設計、既存曳橋撤去工事 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の管理業務や清掃業務等のガイダンス施設の維持管理、除草・枯損木の伐採・剪定等の史跡内管理地の維持管理を行った。 ・御主殿跡における第2次復元的整備工事を実施し、遺構の適正な保存と観光資源としての充実を図った。 ・御主殿跡を中心とする遺構案内やガイダンス施設での子ども手作り甲冑教室をボランティア団体と協働で開催した。 ・平成4年度に実施した御主殿跡発掘調査で出土した、ベネチアで生産されたレースガラスの複製を作成した。 ・検討委員会の意見及び確認調査の資料を反映した保存管理計画を策定した。 ・平成27年度実施の曳橋架替工事に向けた施設設計を行い、既存曳橋撤去工事を完了した。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	ガイダンス施設 年間入館者数	人	20,766	47,486	50,197	2,711
	年間経費	円	208,768,916	68,256,717	65,381,729	2,874,988	
	入館者1人あたりコスト	円/人	10,053	1,437	1,303	134	

活動指標 … 事業の活動量を現す指標

26年度 評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	御主殿跡の第2次復元的整備工事等の整備活用、曳橋架替工事实施設設計、既存曳橋撤去工事の完了等、事業活動を計画どおり実施し、年度目標を達成した。	
	【次年度の展開】	曳橋は調査及び架替工事に伴い平成25年度より通行止めになっており、史跡内の回遊性が十分でない状況である。また、補修が必要な史跡全体の案内サインが複数ある。
	拡充	

27年度 の取組	曳橋架替工事を実施し、史跡内の回遊性を復活させ、来訪者の利便性を向上させる。引き続き、自然環境など現在の八王子城跡の魅力も活かすための維持管理、整備・活用を進めていく。	28年度 の計画	史跡の公開活用の充実に向けた整備を実施するために遺構確認調査を行うとともに、史跡の保存を図るために、公有地化に向けた準備を進めていく。
-------------	--	-------------	---

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】
	御主殿跡の復元工事といった、将来の世代に遺構を残す取り組みを行っている。また、八王子城跡をより多くの方に知ってもらうためガイダンス施設を建設し年間5万人を超える来館者があり、年々来館者数を増やしつつ単位当たりコストを下げている。 八王子城跡管理については嘱託職員の活用、ガイダンス施設については高齢者雇用対策の一環としてシルバー人材センターに委託するなど、職員体制の適正化に取り組んでおり、26年度の事業執行自体は妥当であるが、今後は文化財保護のあり方として、整備のための募金箱の設置など寄付金制度を検討すべきである。

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	文化財関連施設維持管理				事業類型	施設運営							
担当部課	生涯学習スポーツ部 文化財課												
計画	編	3	章	4	施策番号	25 市民が誇れる歴史と伝統文化の継承							
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	04	生涯学習費	目	03	文化財保護費
根拠	八王子市絹の道資料館条例、八王子市中田遺跡条例												
目的	文化財関連施設を適正に管理運営し、郷土の歴史や文化への理解を深め、文化の向上に寄与する。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.61人		0.40人		0.47人		0.07人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.30人		0.05人		0.05人		0.00人				
	計		0.91人		0.45人		0.52人		0.07人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		7,128,218		6,303,179		6,986,247		683,068				
	うち委託料		5,629,286		4,728,870		5,335,919		607,049				
	維持補修費		4,000		105,000		0		105,000				
	その他		77,058		76,620		76,034		586				
	計		7,209,276		6,484,799		7,062,281		577,482				
その他コスト	職員費		6,215,373		3,689,490		3,893,732		204,242				
	減価償却費		2,969,750		2,969,750		2,969,750		0				
	賞与引当金繰入額		367,427		223,280		266,445		43,165				
	退職給与引当金繰入額		353,743		21,346		0		21,346				
	計		9,906,293		6,903,866		7,129,927		226,061				
行政コスト 計			17,115,569		13,388,665		14,192,208		803,543				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		7,209,276		6,484,799		7,062,281		577,482				
	事業費財源 計		7,209,276		6,484,799		7,062,281		577,482				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	平成25年度については中田遺跡公園の改修のため、一時閉鎖していたことから、その期間の公園維持管理委託料が減となった。												

年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絹の道資料館の運営管理と市史跡「絹の道」の景観保全 ・絹の道資料館の団体見学者へのガイドボランティア活動 ・中田遺跡公園の維持管理、古墳時代の住居跡の公開 	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・絹の道資料館の管理運営を行うとともに、市史跡「絹の道」の景観保全を図った。 ・団体見学者へのガイドボランティアによるガイドを実施した。 ・公園の維持管理及び古墳時代の住居跡の公開を行った。 ・平成26年2月まで内部の公開を行っていた復元住居については、老朽化により安全面に問題があるため、平成26年度は内部の公開を中止した。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	絹の道資料館入館者数	人	7,666	8,919	8,787	132
	年間経費		円	11,944,353	9,877,821	9,376,278	501,543
	入館者1人あたりコスト		円/人	1,558	1,108	1,067	41
活動指標	中田遺跡見学者数	人	2,382	235	見学中止	-	
	年間経費		円	5,171,216	3,510,844	4,815,930	1,305,086
	見学者1人あたりコスト		円/人	2,171	14,940	-	-

活動指標 … 事業の活動量を現す指標

26年度評価	<p>【評価】</p> <p>施設を見学しやすい環境に維持するとともに、利用者が安全に過ごせる環境を確保したことから、施設の維持管理を適切に行うことができた。</p> <p>なお、中田遺跡については、老朽化による安全性の低下から施設内部の見学を中止したため、26年度の見学者数は「0」である。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>中田遺跡公園の復元住居は、老朽化による安全性の低下が懸念されるため、早急に解体する必要がある。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>拡充</p>	

27年度の取組	<p>来訪者の安全に配慮しながら、引き続き施設の維持管理を適切に行う。</p> <p>中田遺跡公園については、史跡公園としての価値を高め、利用者の利便性を向上させるため、老朽化した復元住居を解体し、遺構表示及び障害者等用駐車区画の整備を行う。</p>	28年度の計画	<p>施設利用者の安全性を確保するため、文化財関連施設の老朽化している部分について、適切な措置を行う。</p> <p>また、施設や案内体制を充実させることで、八王子の歴史や文化を知り学ぶ場として活用を図っていく。</p>
---------	---	---------	--

<p>庁内評価委員会 (二次評価)</p>	<p>【評価】</p> <p>絹の道の景観保全を行うとともに、絹の道を訪れる市民や観光客に対し絹の道に関する資料を展示し、ガイドボランティアによるガイドも行っている。この施設は、博物館法に規定する施設に準ずる施設であり、無料が原則である。</p> <p>中田遺跡は復元住居の老朽化に伴い、26年度は内部の公開を中止し、27年度において解体した。</p> <p>以上のことから、26年度の事業執行は妥当である。</p>
---------------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	郷土資料館管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	生涯学習スポーツ部 文化財課【郷土資料館】												
計画	編	3	章	4	施策番号	25	市民が誇れる歴史と伝統文化の継承						
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	04	生涯学習費	目	05	郷土資料館費
根拠	八王子市郷土資料館条例、八王子市郷土資料館条例施行規則												
目的	郷土の資料その他文化的、教育的資料を収集、保存、展示して教育並びに調査研究等に資することにより、市民及び地域社会の文化の発展に寄与する。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		3.54人	3.51人	3.68人	0.17人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	計		3.54人	3.51人	3.68人	0.17人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		15,276,495	15,300,634	15,372,699	72,065							
	物件費		8,902,054	7,851,900	8,885,726	1,033,826							
	うち委託料		2,967,236	2,900,682	2,923,119	22,437							
	維持補修費		72,975	80,640	74,412	6,228							
	その他		978,160	1,246,229	1,734,495	488,266							
	計		25,229,684	24,479,403	26,067,332	1,587,929							
その他コスト	職員費		29,891,265	30,855,932	29,072,000	1,783,932							
	減価償却費		981,320	981,320	981,320	0							
	賞与引当金繰入額		1,884,790	1,878,632	2,029,020	150,388							
	退職給与引当金繰入額		2,052,870	187,310	0	187,310							
	計		34,810,245	33,903,194	32,082,340	1,820,854							
行政コスト 計			60,039,929	58,382,597	58,149,672	232,925							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		0	0	0	0							
	その他		896,900	240,620	609,910	369,290							
	一般財源		24,332,784	24,238,783	25,457,422	1,218,639							
	事業費財源 計		25,229,684	24,479,403	26,067,332	1,587,929							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	光熱水費(電気・水道対前年比229千円増)・特別展図録の増刷(565千円)・大型プリンター新規購入(223千円)等による増。												

年度目標	・郷土資料館の来館者が快適に安心して利用できる施設であるために適切な維持管理に努める。また、貴重な収蔵資料や展示物を災害等から守り、適正に管理する。 ・特別展・コーナー展・企画展等(6件)、体験学習・講座(7件)を開催する。 ・調査・研究について「郷土資料館だより」2回・「研究紀要」1冊・「展示図録」3冊・「資料シリーズ」1冊を刊行する。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	・施設の適切な維持管理を行なったことで利用者の安全な見学環境を確保することと資料を適正に管理することが出来た。 ・八王子市に関する貴重な歴史資料を収集し、調査・研究に努め、収蔵資料の充実を図った。その成果として「郷土資料館だより」2回・「研究紀要」1冊・「展示図録」3冊・「資料シリーズ」1冊を計画どおり刊行することが出来た。 ・また特別展・コーナー展・企画展等(6件)を開催し、資料を幅広く活用するとともに、体験学習・講座(7件)を実施することで市民の生涯学習への要望に応えた。
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	特別展・企画展、講座の合計来館者・参加人数	人	27,209	21,393	20,369	1,024
	年間経費	円	60,039,929	58,382,597	58,149,672	232,925	
	来館者・参加者1人あたりコスト	円/人	2,207	2,729	2,855	126	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】 事業目的を果たすため、特別展・企画展・講座・体験学習など様々な形で市民の学習機会を提供し、計画どおりに執行することができた。	【26年度末時点の課題】 建物・設備の老朽化が進み、年々維持管理が難しい状況になっている。 また、隣接地に大規模な消防署が完成し、その建設工事の影響を受けて来館者が2年続けて減少している。
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度の取組	現状の課題に向き合い、創意工夫を図りながら事業目標を達成するため特別展・企画展・講座・体験学習など様々な形で市民の学習機会を提供していく。	28年度の計画	特別展・企画展・講座・体験学習事業を継続しながら、同時に新郷土資料館の整備計画の作成を進める。
---------	---	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	【評価】 各種企画展や講座は目標に掲げていた回数を行うことができたが、来場者数は減少している。隣接地の工事も26年度で終了し、外的要因も少なくなったことから、今後はより多くの市民に関心を持ってもらえるような各種企画展や講座を行っていく必要がある。 現状の郷土資料館は、施設の老朽化が激しく、貴重な資料を安全に保管し、次の世代に引き継ぐために、新たな施設の検討を開始している。 施設の管理運営にかかる主な経費の内訳は、清掃等の委託料、5名の学芸員への報酬、講座の開催や発行物などにかかる経費である。すでに業務に応じて嘱託職員を活用しており、職員体制の適正化に取り組んでいることから、26年度の事業執行は妥当である。
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	こども科学館管理運営				事業類型	施設運営							
担当部課	生涯学習スポーツ部 こども科学館												
計画	編	3	章	3	施策番号	22					市民がつながる生涯学習		
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	04	生涯学習費	目	07	こども科学館費
根拠	八王子市こども科学館条例・施行規則、八王子市博物館協議会条例・施行規則、八王子市郷土資料館条例												
目的	市民に科学に関する普及及び啓発を図る場を提供するために、こども科学館の施設の管理運営を行う。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		1.55人		1.55人		1.40人		0.15人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.40人		0.40人				
	計		1.55人		1.55人		1.80人		0.25人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		8,760,435		8,807,769		8,878,270		70,501				
	物件費		15,952,836		17,887,448		17,909,240		21,792				
	うち委託料		7,045,040		7,007,671		7,444,516		436,845				
	維持補修費		1,315,450		941,314		136,252		805,062				
	その他		72,393		71,214		2,335,543		2,264,329				
	計		26,101,114		27,707,745		29,259,305		1,551,560				
その他コスト	職員費		13,087,983		13,625,838		12,505,856		1,119,982				
	減価償却費		18,553,929		18,553,929		18,553,929		0				
	賞与引当金繰入額		825,261		829,595		830,343		748				
	退職給与引当金繰入額		898,855		82,715		0		82,715				
	計		33,366,028		33,092,077		31,890,128		1,201,949				
行政コスト 計			59,467,142		60,799,822		61,149,433		349,611				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		8,209,080		7,240,920		7,360,180		119,260				
	その他		50,741		72,498		85,699		13,201				
	一般財源		17,841,293		20,394,327		21,813,426		1,419,099				
	事業費財源 計		26,101,114		27,707,745		29,259,305		1,551,560				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	事業費の増は工事請負費(その他経費)で講座室の空調工事(1,080千円)、給水ポンプ交換工事(1,188千円)をおこなったため。												

年度目標	総入館者数 90,000人	活動結果
		事業活動が計画よりやや下回った

活動実績	<p>総入館者数 85,181人</p> <p>有料入館者数は昨年とほぼ同数であったが、無料入館者数が約3,300人の減となった。</p> <p>26年度は、例年の工作教室、実験ショー、宇宙の学校、夏休みの工作教室、講演会、星空観望会、星空コンサート等にあわせて、皆既月食観望会や、市民団体との協働で特別展「八王子春の蝶」を開催、八王子消防署との共催で、はたらく消防の写生会の優秀作品展示会を開催した。また、新規展示物「科学クイズ」を制作した。</p>
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	総入館者数	人	92,301	88,571	85,181	3,390
	年間経費	円	59,467,142	60,799,822	61,149,433	349,611	
	入館者1人あたりコスト	円/人	644	686	718	32	

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	<p>【評価】</p> <p>施設の老朽化の中、故障した講座室の空調機や水道ポンプの更新工事をおこない、有料施設として来館者に支障をきたさないように維持を行った。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>開館から26年を経過し、施設の老朽化により機器等の故障が続いており、抜本的な修繕が望まれる。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>改善</p>	

27年度の取組	<p>施設内の一部改修(トイレ、じゅうたん)と28年度の施設大規模改修の設計を委託する。</p>	28年度の計画	<p>施設の大規模改修を行う。</p>
---------	--	---------	---------------------

<p>庁内評価委員会(二次評価)</p>	<p>【評価】</p> <p>施設及び展示物の老朽化が著しい。子どもに科学の楽しさを体感してもらう施設であり、プラネタリウムへの小学校、中学校の授業での利用が多い中で、施設改修や展示物の刷新をさらに進める必要がある。</p> <p>また、減少傾向にある入館者数を増やす取組が必要である。</p>
----------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	学校の開放					事業類型	施設運営						
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課												
計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション						
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
根拠	八王子市学校校庭夜間開放実施要綱、プール開放基準要項												
目的	八王子市学校体育施設開放事業として、学校教育に支障のないかぎり、学校の校庭・プールを開放し、スポーツの振興を図ることを目的として八王子市教育委員会が実施する。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		0.00人		0.30人		0.72人		0.42人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.20人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.20人		0.30人		0.72人		0.42人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		3,816,538		4,242,947		4,751,887		508,940				
	うち委託料		3,619,900		4,077,660		4,596,843		519,183				
	維持補修費		319,200		336,000		1,296,000		960,000				
	その他		14,957		36,900		6,143		30,757				
	計		4,150,695		4,615,847		6,054,030		1,438,183				
その他コスト	職員費		709,746		2,637,260		5,688,000		3,050,740				
	減価償却費		538,180		453,156		439,610		13,546				
	賞与引当金繰入額		28,430		160,566		396,982		236,416				
	退職給与引当金繰入額		0		16,010		0		16,010				
	計		1,276,356		3,266,992		6,524,592		3,257,600				
行政コスト 計			5,427,051		7,882,839		12,578,622		4,695,783				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		0		0				
	一般財源		4,150,695		4,615,847		6,054,030		1,438,183				
	事業費財源 計		4,150,695		4,615,847		6,054,030		1,438,183				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	1. 施設(照明設備)の老朽化に伴い、修繕費が増加 2. 校庭夜間開放を小・中・高校生も利用できることにするなど、制度改正に伴う事務量が増加したことによる職員費の増												

年度目標	夜間照明施設を有する学校の校庭を夜間に地域及び勤労者を主体とした団体に開放する。 小学校10校で実施する。	活動結果
	市民の健康づくり・体力づくりに寄与するため、学校夏季休業中に小学校のプールを一般に開放する。 小学校10校で実施する。	事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<p>校庭夜間開放事業 夜間照明設備のメンテナンスに努め、設置校10校において実施。期間中5,495名の利用があった。利用者数の減少が続いているため、年齢制限を下げ小学生から利用できる制度への改正を検討し、仕組みを作った(27年度施行)。</p> <p>プール開放事業 開放校8校において事業を実施、期間中4,786名の利用があった。</p>
------	---

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	活動指標	夜間校庭開放の利用者数	人	8,634	7,577	5,495	2,082
		年間経費	円	2,295,734	3,294,668	6,330,336	3,035,668
		校庭利用者1人あたりコスト	円/人	266	435	1,152	717
	活動指標	プール開放の利用者数	人	7,118	5,260	4,786	474
		年間経費	円	3,131,317	4,588,171	6,248,286	1,660,115
		プール利用者1人あたりコスト	円/人	440	872	1,306	434

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】 事業活動は計画どおり実施したが、利用者数は減少傾向にある。一方、事業費は、老朽化に伴う修繕料を除いても前年より増加していることから、費用対効果の向上に努める必要がある。	【26年度末時点の課題】 校庭夜間開放事業については、利用者数の減少が続いているため、利用者(主に勤労者)を18歳以上としていたが、小学生から利用できる制度に改正したことから、改正した制度を広く周知し、利用者数の増加を図る必要がある。
	【次年度の展開】 改善	

27年度の取組	校庭夜間開放事業、プール開放事業ともに利用者数の増加に取り組む。また、校庭の夜間開放については、老朽化した照明設備の点検・整備を計画的に実施する。	28年度の計画	学校の開放事業全体のあり方を関係所管と連携して検討し、事業を推進していく。
---------	---	---------	---------------------------------------

庁内評価委員会 (二次評価)	【評価】 校庭夜間開放事業、プール開放事業ともに利用者数は前年と比較して減少している。両事業は委託により実施しているが、24年度・25年度と比較すると、職員体制の適正化に取り組む余地がある。利用者数を増やすことが急務であるが、校庭夜間開放事業は、27年度から実施する年齢制限の引下げによってどの程度の効果が現れるのか見極めながら、今後の対応を検討すべきである。
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	屋外運動施設の管理運営					事業類型	施設運営						
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課												
計画	編	3	章	3	施策番号	23					誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション		
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
根拠	八王子市都市公園条例・八王子市運動場条例等												
目的	スポーツをする場の整備・充実、運営とサービスの向上												
人員体制					24年度	25年度	26年度	対前年度					
	一般職員				8.70人	8.24人	8.57人	0.33人					
	任期付職員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人					
	再任用職員				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人					
	計				8.70人	8.24人	8.57人	0.33人					
行政コスト	(単位 円)												
事業費					24年度	25年度	26年度	対前年度					
	人件費				0	0	0	0					
	物件費				225,252,973	214,101,957	219,255,103	5,153,146					
	うち委託料				191,454,369	182,300,273	187,357,827	5,057,554					
	維持補修費				7,863,880	7,042,990	3,023,488	4,019,502					
	その他				13,477,415	5,565,099	9,839,474	4,274,375					
計				246,594,268	226,710,046	232,118,065	5,408,019						
その他コスト	職員費				73,461,584	72,436,717	67,703,000	4,733,717					
	減価償却費				14,855,439	14,775,407	14,266,457	508,950					
	賞与引当金繰入額				4,632,108	4,410,233	4,725,189	314,956					
	退職給与引当金繰入額				5,045,191	439,727	0	439,727					
	計				97,994,322	92,062,084	86,694,646	5,367,438					
行政コスト 計				344,588,590	318,772,130	318,812,711	40,581						
事業費財源	国庫支出金				0	0	0	0					
	都支出金				0	0	0	0					
	市債				0	0	0	0					
	使用料・手数料				120,895,240	113,946,009	128,377,623	14,431,614					
	その他				880,038	301,834	1,069,182	767,348					
	一般財源				124,818,990	112,462,203	102,671,260	9,790,943					
	事業費財源 計				246,594,268	226,710,046	232,118,065	5,408,019					
事業費及び事業費財源の主な増減説明	<p>1. 富士森公園テニスコートの大規模改修前であるため、緊急性の高い修繕以外を控えた運営となったことで物件費を縮減できた。</p> <p>2. 平成25年度は、国体開催のため、施設修繕を多数実施したため、平成26年度は、必然的に修繕費用が減少した。</p> <p>3. 収入においては松木公園テニスコートの料金改定に伴う増額や戸吹スポーツ公園の利用率の向上により増収となった。</p>												

年度目標	・運動施設の利用環境を良好な状態に維持し、利用者への施設提供を適切に行う。 ・老朽化した施設を順次改修し、改修した施設については、設備に見合った使用料に見直していく。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	1. 老朽施設再生の財源として国庫補助(社会資本整備=市民体育館改修)やtoto助成(富士森公園テニスコート)の確保に努めたほか、前年度から取り組んでいるテニスコート使用料改定(前年度、松木公園テニスコート、翌年度、富士森公園テニスコート)に向けた準備を進めた。 2. 以下の施設について、施設の運営(サービス)及び管理(メンテナンス)事業を実施 【対象施設】 滝ガ原・川町・栲田・下恩方地区の各運動場、西寺方グラウンド、陵南プール、富士森公園、北野公園、高倉公園、上柚木公園内運動施設、大塚公園ほか7公園内運動施設、戸吹スポーツ公園 ほか 3. 施設予約システムを更新し、施設利用者の利便を向上した。 4. 運動施設の充実に向け、富士森公園テニスコート整備の実施設計を行ったほか、公園課と協働で富士森公園再整備に向けた取り組みを開始した。
------	---

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	屋外運動施設の利用者数	人	1,125,211	1,079,165	1,064,168	14,997
	年間経費	円	344,588,590	318,772,130	318,812,711	40,581	
	利用者1人あたりコスト	円/人	306	295	300	5	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】 事業計画どおり屋外運動施設の管理運営を行い、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供することができた。また、老朽化した富士森公園テニスコートの大規模改修に向けた実施設計を計画どおり実施した。	【26年度末時点の課題】 老朽化した施設の延命・再生、大規模改修等、施設マネジメントのより一層の強化と、そのための財源確保が課題である。
	【次年度の展開】 現状維持	

27年度の取組	富士森公園テニスコートの大規模改修工事を行うとともに、上柚木公園テニスコート改修工事、上柚木公園陸上競技場の公認更新に向けた実施設計を行う。	28年度の計画	各施設における付加価値を高めるための管理運営を目的としたサービス事業(ソフト面)や、効率的な保守管理を目的としたメンテナンス事業(ハード面)の事業を、各施設の特性に合わせ実施する。
---------	--	---------	--

庁内評価委員会 (二次評価)	【評価】 改修をおこなった施設では、順次、受益者負担の適正化に基づく料金体系としている。滝ガ原運動場、川町運動場、栲田運動場、西寺方グラウンド以外の屋外運動施設は、すべて公園施設に併設されており、公園管理業務と一緒にすることで、効率化を図る余地がある。 一方、テニスコート、市民球場及び戸吹スポーツ公園以外の屋外運動施設は、平日の利用者は少なく、利用実態を踏まえた効率的な管理方法が求められる。
-------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	甲の原体育館の管理運営					事業類型	施設運営						
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課												
計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション						
予算	会計	一般会計			款	10	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費
根拠	八王子市体育館条例等												
目的	市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図るための施設として、甲の原体育館の管理運営を行い、安全な施設環境を維持する。												
人員体制			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	一般職員		3.68人	0.61人	0.24人	0.37人							
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人							
	計		3.68人	0.61人	0.24人	0.37人							
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度	25年度	26年度	対前年度							
	人件費		15,491,785	0	0	0							
	物件費		86,462,985	101,106,501	100,058,704	1,047,797							
	うち委託料		43,412,780	101,106,501	100,058,704	1,047,797							
	維持補修費		3,776,334	0	0	0							
	その他		2,469,697	1,073,161	380,874	692,287							
	計		108,200,801	102,179,662	100,439,578	1,740,084							
その他コスト	職員費		31,073,405	5,362,427	1,896,000	3,466,427							
	減価償却費		31,459,691	31,459,691	31,459,691	0							
	賞与引当金繰入額		1,959,331	326,486	132,327	194,159							
	退職給与引当金繰入額		2,134,058	32,553	0	32,553							
	計		66,626,485	37,181,157	33,488,018	3,693,139							
行政コスト 計			174,827,286	139,360,819	133,927,596	5,433,223							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0							
	都支出金		0	0	0	0							
	市債		0	0	0	0							
	使用料・手数料		25,672,140	0	0	0							
	その他		220,117	0	0	0							
	一般財源		82,308,544	102,179,662	100,439,578	1,740,084							
	事業費財源 計		108,200,801	102,179,662	100,439,578	1,740,084							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	指定管理者制度導入後一年が経過したことにより、事業継続(引き継ぎ等)のため必要であった職員費を削減することができた。												

年度目標	指定管理者との連携・協働により、施設・設備を良好な状況に保つとともに、事務効率を向上させ、質の高い市民サービスを提供していく。	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	<p>1 指定管理者と協働で民間のノウハウを活かした維持管理を強化した結果、空調配管や照明設備などの老朽設備の改善を図ることができた。また、老朽設備の改善に伴い、光熱水費は、予算額より5,000千円以上削減できたことから、施設運営の財源確保も進んでいる。</p> <p>2 施設充実に向け、民間のノウハウを活かした各種事業を実施し、質の高い市民サービスを提供することができた。</p>
------	--

活動推移			単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
	活動指標	利用者数	人	208,356	221,190	208,032	13,158
	年間経費	円	174,827,286	139,360,819	133,927,596	5,433,223	
	1人あたりコスト	円/人	839	630	644	14	

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度評価	【評価】	【26年度末時点の課題】
	<p>事業活動は計画どおり実施したが、利用者数が25年度より減少し、民間のノウハウを活用する指定管理者制度の導入効果が落ちているため、改善する必要がある。</p> <p>【次年度の展開】</p> <p>改善</p>	<p>建設後20年が経過し、老朽化した施設全体の大規模な改修が課題となっている。</p>

27年度の取組	甲の原体育館は、建設から20年以上を経過した老朽施設であり、施設再生に向けた予算の確保、指定管理者との協働による維持管理による施設の長寿命化対策に取り組む。	28年度の計画	指定管理者の更新時期にあたるため、指定管理者制度導入以降得たノウハウを絶やすことなく次事業者に事業継続を行う。
---------	--	---------	---

庁内評価委員会 (二次評価)	<p>【評価】</p> <p>25年度から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かした運営により高い満足度や節電等省エネの推進に寄与し、光熱水費の削減に取り組んでいる。</p> <p>一方で、26年度の利用者数は前年と比較して少なくなっており、指定管理者制度導入前と同水準となってしまっている。そのため、利用者数を前年以上に戻すような対策が必要である。</p>
-------------------	--

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	旭町駐車場				事業類型	施設運営							
担当部課	道路交通部 交通事業課												
計画	編	4	章	3	施策番号	32 交通環境の充実							
予算	会計	駐車場事業特別会計			款	01	駐車場費	項	01	駐車場費	目	01	駐車場管理費
根拠	八王子市営駐車場条例												
目的	中心市街地の路上駐車解消と商業の活性化を目的に、旭町駐車場の運営を行う。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		1.04人		0.98人		0.78人		0.20人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		1.04人		0.98人		0.78人		0.20人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		60,292,487		59,571,552		43,668,732		15,902,820				
	うち委託料		48,277,645		47,556,710		31,653,890		15,902,820				
	維持補修費		0		0		0		0				
	その他		23,301,588		26,788,038		32,456,088		5,668,050				
	計		83,594,075		86,359,590		76,124,820		10,234,770				
その他コスト	職員費		9,157,305		8,466,537		6,162,000		2,304,537				
	減価償却費		33,545,792		33,545,792		33,545,792		0				
	賞与引当金繰入額		553,723		524,516		430,064		94,452				
	退職給与引当金繰入額		603,103		52,298		0		52,298				
	計		43,859,923		42,589,143		40,137,856		2,451,287				
行政コスト 計			127,453,998		128,948,733		116,262,676		12,686,057				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		83,593,650		86,359,180		76,124,414		10,234,766				
	その他		425		410		406		4				
	一般会計繰入金		0		0		0		0				
	事業費財源 計		83,594,075		86,359,590		76,124,820		10,234,770				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	指定管理料のうち、駐車場内の運用見直しにより人件費が圧縮されたこと及び北口地下駐車場との割合を見直したことによる減額。												

年度目標	旭町駐車場の適切な管理運営	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	24年度	25年度	26年度
	時間貸(四輪車) : 58,812台	時間貸(四輪車) : 49,635台	時間貸(四輪車) : 47,339台
	時間貸(二輪車) : 16,002台	時間貸(二輪車) : 15,094台	時間貸(二輪車) : 14,927台
	定期(四輪車) : 1,034台	定期(四輪車) : 1,026台	定期(四輪車) : 995台
	定期(二輪車) : 286台	定期(二輪車) : 325台	定期(二輪車) : 384台
	回転率(四輪車) : 1.1	回転率(四輪車) : 0.9	回転率(四輪車) : 0.9
	回転率(二輪車) : 1.1	回転率(二輪車) : 1.1	回転率(二輪車) : 1.1

		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度	
活動推移	活動指標	駐車区画数 (四輪車区画に換算した区画)	区画	175	175	175	0
		四輪車駐車可能区画数	区画	152	152	148	4
		二輪車駐車可能区画数	区画	63	63	75	12
	年間経費		円	127,453,998	128,948,733	116,262,676	12,686,057
	の1区画あたり管理コスト		円/区画	728,309	736,850	664,358	72,492

活動指標 …… 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	【評価】 施設管理経費が増大するなか、業務内容を見直すことによって、結果として事業費全体では削減することができた。一方で、利用台数は減少の傾向にあり、更なる対策を検討する必要がある。	【26年度末時点の課題】 周辺駐車場整備状況及び自動車の大型化により、時間貸し利用台数がマイナスで推移しているなか、運用の見直しによる人件費削減、二輪車駐車スペースの拡幅など、経営改善に努め、一定の成果があった。ただし、費用対効果の観点から、更に経営改善を図っていく必要がある。
	【次年度の展開】 改善	

27年度 の取組	定期駐車場の拡大、二輪車利用のPR等による、使用料収入の増額を図る。	28年度 の計画	更に費用対効果の改善を模索していく。
-------------	------------------------------------	-------------	--------------------

庁内評価 委員会 (二次評価)	【評価】 当該駐車場は、東急スクエアビルの附置義務駐車場であり、一定の駐車台数を確保する必要がある。駐車場は、機械式立体駐車場を設置しているが、自走式の平置き駐車場を設置した場合、必要とする一定台数分の確保ができないことから機械式を導入した経緯がある。そのため、機械式の維持管理経費が毎年度かかるほか、駐車できるサイズは小型車までのサイズに限定されてしまうため、平置き駐車場と比べると効率性が良くない。 事業全体にかかる効率性の観点からは、旭町、南大沢、八王子駅北口地下の三つの駐車場について、一連の駐車場管理の流れの中に定型的な契約事務や支払事務、指定管理者との調整事務、使用料等集計事務があることから、業務の性格に応じた職員の役割の検討が必要である。
-----------------------	---

事務事業評価シート(平成26年度事業)

事務事業名	八王子駅北口地下駐車場				事業類型	施設運営							
担当部課	道路交通部 交通事業課												
計画	編	4	章	3	施策番号	32					交通環境の充実		
予算	会計	駐車場事業特別会計			款	01	駐車場費	項	01	駐車場費	目	01	駐車場管理費
根拠	八王子市営駐車場条例												
目的	中心市街地の路上駐車解消と商業の活性化を目的に、八王子駅北口地下駐車場の運営を行う。												
人員体制			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	一般職員		1.41人		1.07人		0.86人		0.21人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		1.41人		1.07人		0.86人		0.21人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			24年度		25年度		26年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		79,676,840		90,873,416		102,878,582		12,005,166				
	うち委託料		78,634,280		77,936,236		90,447,594		12,511,358				
	維持補修費		3,328,500		4,290,572		1,606,500		2,684,072				
	その他		496,500		8,266,500		119,000		8,147,500				
	計		83,501,840		103,430,488		104,604,082		1,173,594				
その他コスト	職員費		12,415,192		9,244,076		6,794,000		2,450,076				
	減価償却費		236,025,900		236,025,900		236,025,900		0				
	賞与引当金繰入額		750,721		572,687		474,173		98,514				
	退職給与引当金繰入額		817,669		57,101		0		57,101				
	計		250,009,482		245,899,764		243,294,073		2,605,691				
行政コスト 計			333,511,322		349,330,252		347,898,155		1,432,097				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		82,125,487		102,023,576		103,051,425		1,027,849				
	その他		1,376,353		1,406,912		1,552,657		145,745				
	一般会計繰入金		0		0		0		0				
	事業費財源 計		83,501,840		103,430,488		104,604,082		1,173,594				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	前年度の駐車場管制設備更新の完了に伴う維持補修費の減額、消費税増税等による指定管理料の増額。												

年度目標	八王子駅北口地下駐車場の適切な管理運営	活動結果
		事業活動を計画どおり実施した

活動実績	24年度 時間貸 : 600,015台 定期 : 214台 回転率 : 3.8	25年度 時間貸 : 673,087台 定期 : 193台 回転率 : 4.3	26年度 時間貸 : 658,541台 定期 : 190台 回転率 : 4.2
	<p>【利用者の声による改善事例】 「満車でなかなか駐車ができなかった。空車状況を初めて来た人にもわかるようにしてほしい。」 満車エリアを周回してしまう利用者のため、比較的空車がある他のエリアへの案内表示を設置。</p>		

活動推移	活動指標	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	対前年度
			駐車可能区画数	区画	430	430
	年間経費	円	333,511,322	349,330,252	347,898,155	1,432,097
	1区画あたり管理コスト	円/区画	775,608	812,396	809,065	3,331

活動指標 … 事業の活動量を表す指標

26年度 評価	<p>【評価】</p> <p>コスト面では、前年度に実施した維持補修費分はなくなったが、消費税増税による指定管理料の増により、1区画あたりの管理コストは前年と同水準となった。 利用台数は、前年よりやや下回ったが計画どおり事業を実施することができた。</p>	<p>【26年度末時点の課題】</p> <p>利用台数は概ね計画どおりの実績であったが、施設の老朽化が進んでいることから、漏水緊急修繕等の経費が継続的に発生している。今後、施設の長寿命化にかかる抜本的な躯体の修繕を行う必要性が高い。</p>
	<p>【次年度の展開】</p> <p>現状維持</p>	

27年度 の取組	利用者データの分析等により、よりニーズを的確に捉えた駐車場運営を検討するとともに、施設の維持保全の為の調査、修繕を行っていく。	28年度 の計画	更なる利用率の向上を図っていくとともに、長期的な修繕計画を策定するため、躯体全体に係る調査を継続する。
-------------	---	-------------	---

<p>庁内評価 委員会 (二次評価)</p>	<p>【評価】</p> <p>施設のハード面では、漏水による修繕等の経費が継続的に発生していることから、中長期の修繕計画を策定し、計画的な対応が求められる。 事業全体にかかる効率性の観点からは、旭町、南大沢、八王子駅北口地下の三つの駐車場について、一連の駐車場管理の流れの中に定型的な契約事務や支払事務、指定管理者との調整事務、使用料等集計事務があることから、業務の性格に応じた職員の役割の検討が必要である。</p>
--------------------------------	--